

## 令和5年度 浜田地域保健医療対策会議及び医療・介護連携部会

日時：令和5年7月11日（火）19:00～21:00

場所：浜田合同庁舎 2階 大会議室

※Web 併用（Zoom）

あいさつ（所長）

### 【報告事項】

- 1 浜田圏域の健康指標 …資料 1
- 2 令和4年度 保健医療計画の進捗状況の報告 …資料 2
  - ③～⑦、⑪～⑫、⑮～⑳…健康増進課
  - ①～②、⑧～⑩、⑰、⑳、㉕…医事・難病支援課
  - ⑬～⑭…地域包括ケア推進スタッフ
  - ⑮～⑯、㉒～㉔…衛生指導課

### 【議題】

- 1 第8次保健医療計画について
  - (1) 第8次保健医療計画の策定について …資料 3
  - (2) 策定スケジュールについて …資料 4
  - (3) 浜田地域保健医療計画の案について …資料 5
- 2 紹介受診重点医療機関の指定について …資料 6
  - (1) 浜田医療センター；「医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関」となる意向あり。
    - 初診の外来延べ患者数に対する割合：61.8%
    - 再診の外来延べ患者数に対する割合：36.6%
  - (2) 今後について；令和6年度以降は、前年度の外来機能報告の結果に基づき、前年度1～3月に協議の場を開催し、紹介受診重点医療機関を決める。（毎年度、協議の場で確認が必要。）
- 3 医師確保計画推進事業について
  - (1) 済生会江津総合病院 …資料 7
- 4 その他

浜田地域保健医療対策会議/医療・介護連携部会 出席者名簿

R5.7.11

	所属・職名	委員名	対策会議	部会	備考
1	浜田市医師会 会長	笠田 守	○		会場
2	江津市医師会 会長	能美 一政	○		Zoom
3	浜田江津歯科医師会 会長	佐々木 良二	○		会場
4	島根県薬剤師会浜田支部 支部長	永田 博幸	○		Zoom
5	島根県薬剤師会江津・邑智支部 支部長	白川 憲和	○		欠席
6	島根県看護協会浜田支部 支部長	佐々木 亜弥	○		欠席
7	国立病院機構浜田医療センター 院長	栗栖 泰郎	○		会場
8	国立病院機構浜田医療センター 事務部長	山根 知己		○	会場
9	国立病院機構浜田医療センター 経営企画室長	星原 昌美		○	会場
10	国立病院機構浜田医療センター 地域医療連携係長	長野 敏女		○	会場
11	山根病院 院長	山根 雄幸		○	Zoom
12	山根病院 事務長	岡本 克正		○	会場
13	山根病院 看護師長	三川 智子		○	会場
14	山根病院 三隅分院 院長	津森 道弘		○	会場
15	済生会江津総合病院 院長	中澤 芳夫	○		Zoom
16	済生会江津総合病院 事務部長	溝上 昌哉		○	Zoom
17	済生会江津総合病院 地域医療連携室長	斎藤 暁子		○	会場
18	済生会江津総合病院 参事	槇野 康一		○	会場
19	済生会江津総合病院 参事	沖原 典子		○	Zoom
20	済生会江津総合病院 地域医療連携室 地域連携係長	小原 俊貴		○	会場
21	西川病院 院長	松本 貴久	○		会場
22	西部島根医療福祉センター 院長	中寺 尚志	○		Zoom
23	島根県環境保健公社浜田支所 支所長	宮家 紀文	○		欠席
24	浜田圏域健康長寿しまね推進会議 会長	宮本 美保子	○		欠席
25	浜田圏域老人施設協議会 会長	渡利 正樹	○		会場
26	浜田地域介護支援専門員協会 会長	大野 涉	○		会場
27	江津ケアマネジャー部会 部会長(桜寿園居宅介護事業所)	税所 千世枝	○		会場
28	島根県訪問看護ステーション協会浜田支部 支部長	丸山 由美	○		会場
29	島根県食品衛生協会浜田支所 支所長	江木 修二	○		会場
30	島根県保険者協議会(協会けんぽ島根支部 企画総務部長)	伊藤 賢宏	○		Zoom
31	浜田市消防本部 消防長	田中 成幸	○		会場
32	江津邑智消防組合 消防長	上岡 一樹	○		Zoom
33	住民代表(浜田市連合自治協議会会長)	原田 豊	○		会場
34	住民代表(江津市連合自治協議会会長)	堀川 哲朗	○		会場
35	浜田地区広域行政組合 事務局長	久保 智	○		会場
36	浜田地区広域行政組合 介護保険課長	平藪 邦浩	○		欠席
37	浜田市市長	久保田 章市	○		代理;猪木迫幸子(部長)
38	浜田市役所 健康医療対策課長	椋木 みどり		○	会場
39	浜田市役所 地域医療担当課長	河上 やすえ		○	会場
40	浜田市役所 医療統括監	佐藤 誠		○	会場
41	江津市長	中村 中	○		Zoom/ 代理;村上郁夫(専門科監)
42	江津市役所 健康医療対策課長	坂越 順子		○	Zoom
43	江津市役所 地域包括支援センター長	小田 みゆき		○	Zoom

## 事務局

	浜田保健所長	中本 稔			
	総務保健部長	手島 雅也			
	調整監	石川 公浩			
	環境衛生部長	佐川 竜也			
	衛生指導課長	富金原 央嗣			
	医事・難病支援課長	青笹 美香			
	医事・難病支援課 医療専門員	漆松 翔子			
	医事・難病支援課 診療放射線技師	塩谷 葵			
	医事・難病支援課 保健師	坂本 沙央理			
	健康増進課 心の健康係長	中永 秋奈			





## 浜田地域保健医療対策会議設置要綱

### (目的)

第1条 県民が、生涯にわたり健康で、必要な時に適切な保健・福祉サービスを利用でき、また、いつでもどこでも安心して質の高い医療を受けられるよう、地域における保健医療に関する諸課題を検討し、その充実を図るために、浜田地域保健医療対策会議（以下「対策会議」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 対策会議は、次に掲げる事項について協議、検討する。

- (1) 保健医療計画の地域における進行管理に関すること。
- (2) 医療施策関連会議の検討経過の報告

### (組織)

第3条 対策会議は別紙の委員をもって構成する。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

2 改選時において、次期委員が選出されるまでの間は、前役員が引続き就任するものとする。

### (運営)

第5条 対策会議は次により運営する。

- (1) 対策会議には、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。
- (2) 対策会議の議長は、委員長が務める。
- (3) 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

### (医療・介護連携部会)

第6条 地域における保健医療体制の構築に当たり、医療・介護の連携体制に関する諸課題の検討を行うために、医療・介護連携部会を設ける。

### (庶務)

第7条 対策会議の庶務は、浜田保健所において処理する。

### (その他)

第8条 この要綱で定めるものの外、対策会議及び作業部会の運営に関して必要な事項は別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成18年8月10日から施行する。

この要綱は、平成26年3月3日から施行する。

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

この要綱は、平成31年3月13日から施行する。

この要綱は、令和2年3月30日から施行する。

この要綱は、令和3年6月17日から施行する。

## 別紙

1	浜田市医師会 会長
2	江津市医師会 会長
3	浜田江津歯科医師会長
4	島根県薬剤師会浜田支部 支部長
5	島根県薬剤師会江津・邑智支部長
6	島根県看護協会浜田支部 支部長
7	国立病院機構浜田医療センター 院長
8	島根県済生会江津総合病院 院長
9	西川病院 院長
10	西部島根医療福祉センター 院長
11	島根県環境保健公社浜田支所 支所長
12	浜田圏域健康長寿しまね推進会議 会長
13	浜田地域老人施設協議会 会長
14	浜田地域介護支援専門員協会 会長
15	江津ケアマネジャー部会 部会長
16	島根県訪問看護ステーション協会浜田支部 支部長
17	島根県食品衛生協会浜田支所 支所長
18	島根県保険者協議会（協会けんぽ島根支部）
19	浜田市消防本部 消防長
20	江津邑智消防組合 消防長
21	住民代表（浜田市連合自治協議会会長）
22	住民代表（江津市健康推進地区連絡会会長）
23	浜田地区広域行政組合 事務局長 介護保険課長
24	浜田市長
25	江津市長

## 浜田地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会設置要領

### (目的)

第1 浜田圏域内の医療・介護の連携体制に関する諸課題を協議し、情報共有・意見交換を行うために、浜田地域保健医療対策会議に医療・介護連携部会（以下、「部会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2 この部会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 地域医療構想実現に向けての医療・介護サービスの提供体制に関する情報共有・意見交換
- (2) 地域医療介護総合確保基金に対する各年度の圏域内要望事項に関すること

### (組織)

第3 部会は圏域内の以下の部会員をもって構成する。

- (1) 各病院の代表（院長等）
- (2) 各医師会長
- (3) 医療・介護関係団体の代表
- (4) 各市の医療担当課
- (5) 各市の介護保険担当課
- (6) その他必要と認める者

2 必要に応じて、下部組織を設けることができる。

### (運営)

第4 部会は次により運営する。

- (1) 部会には、部会員の互選により会長を置く。
- (2) 部会の議長は、会長が務める。

### (会議)

第5 この部会は、浜田保健所長が招集し、必要に応じて随時開催するものとする。

### (庶務)

第6 この部会の庶務は、浜田保健所において処理する。

(その他)

第7 この要領に定めるものの他、部会の運営に必要な事項は別に定める。

附則 この要領は、平成26年7月28日から施行する。

この要領は、平成31年2月18日から施行する。

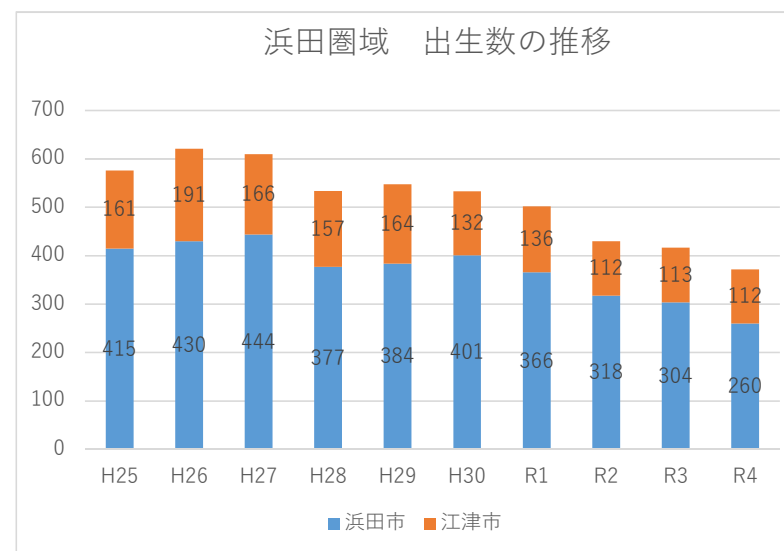
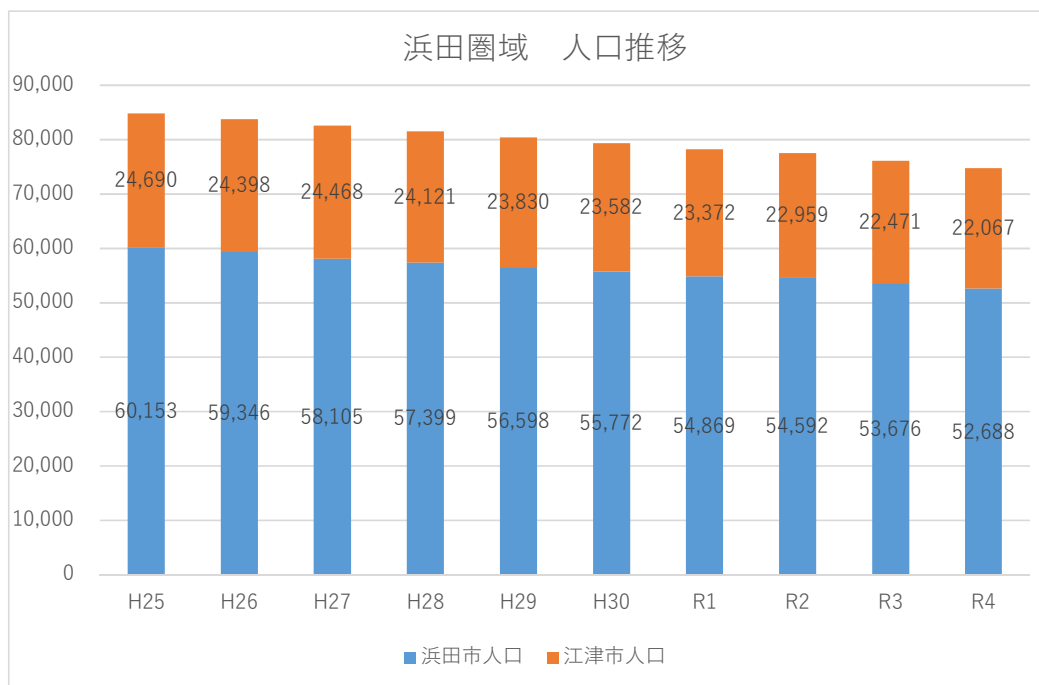
# 浜田圏域の健康指標

令和 5 年6月

島根県浜田保健所

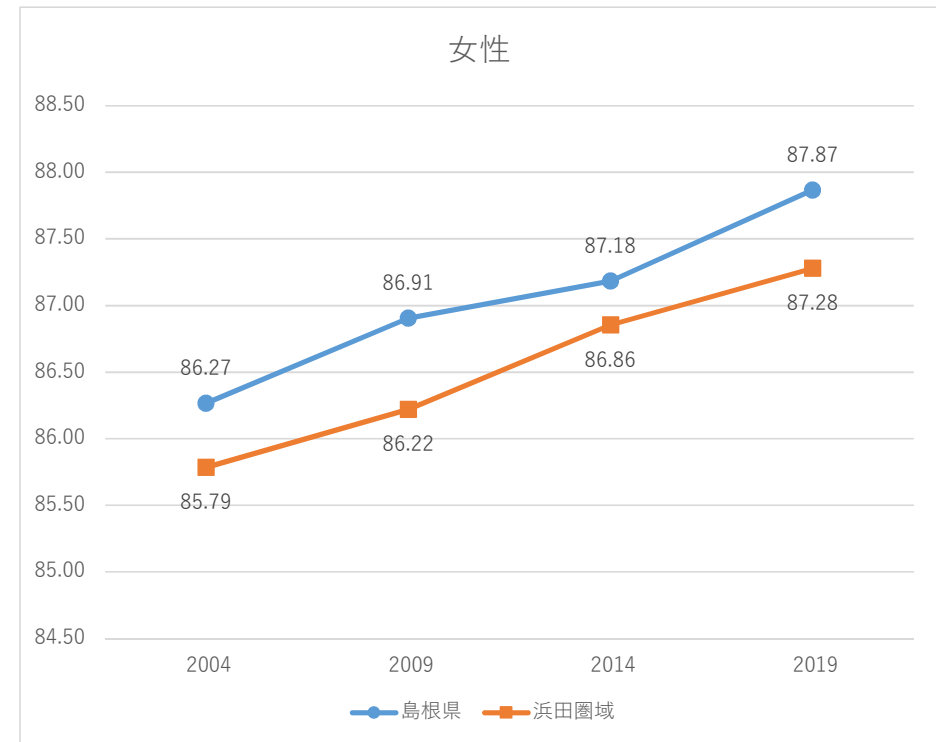
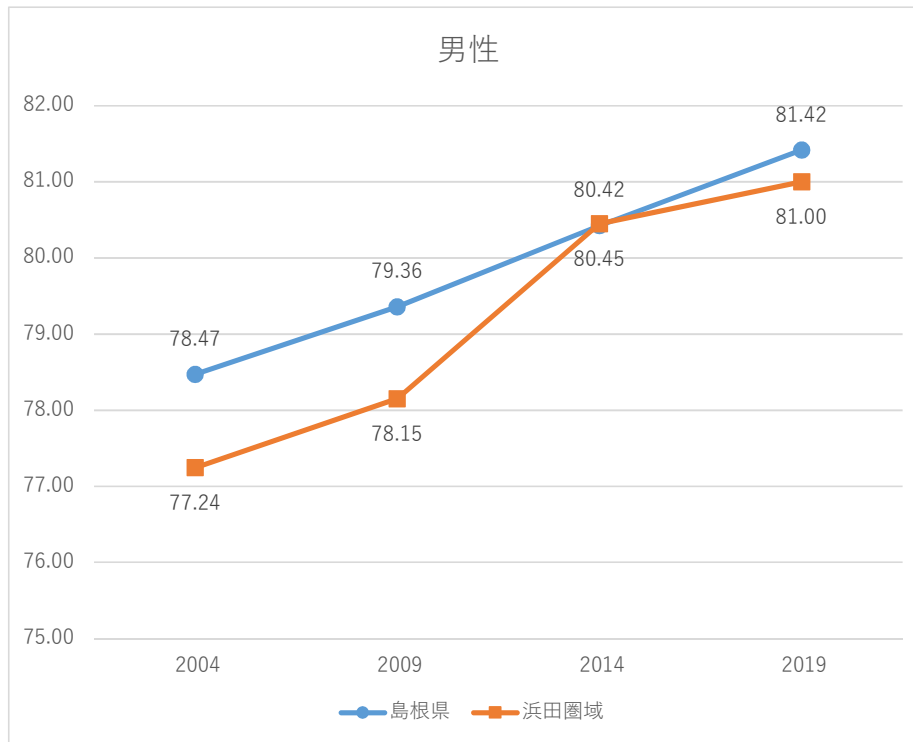
# 浜田圏域の概要

- 管内の人口は、令和4年10月1日現在で**74,755人**(推計人口)で、県全体の11.4%
- 令和4年10月1日現在で管内の高齢化率(65歳以上の高齢者が人口に占める割合)は、37.5%となっており、県平均の34.8%を大きく上回っている。



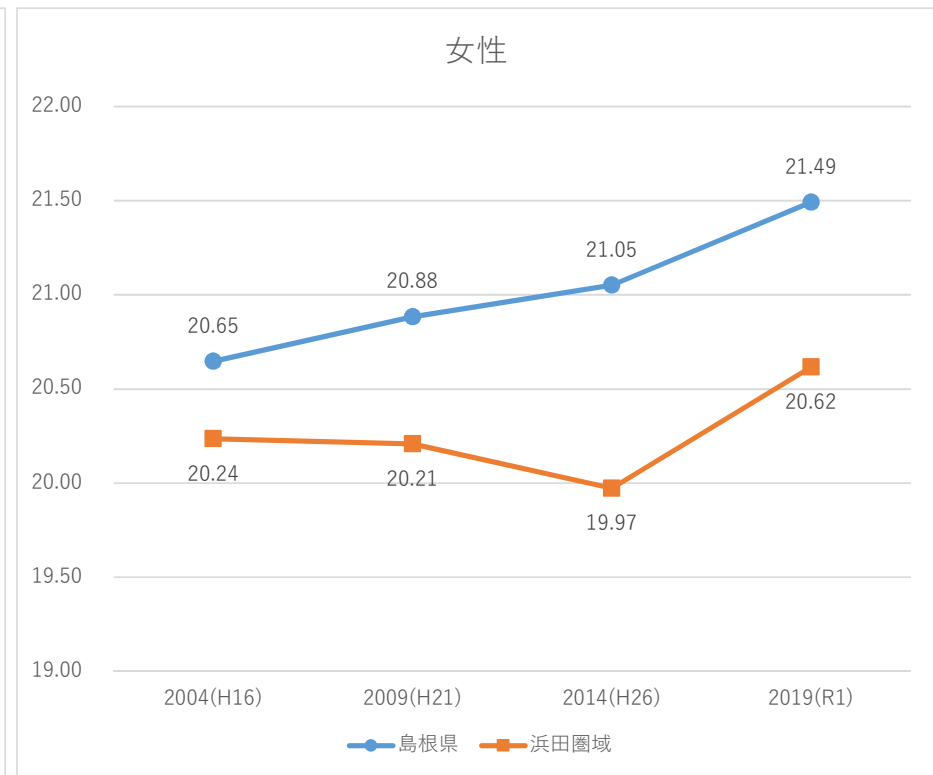
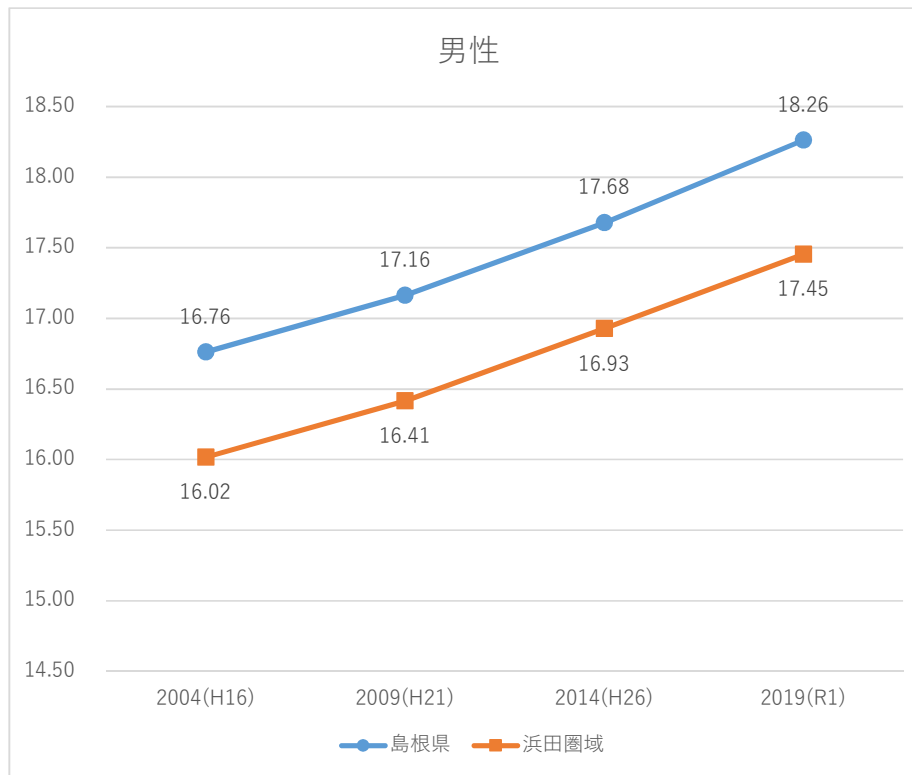
※データ : しまね統計情報データベース (9/30~10/1で集計)

# 平均寿命



※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

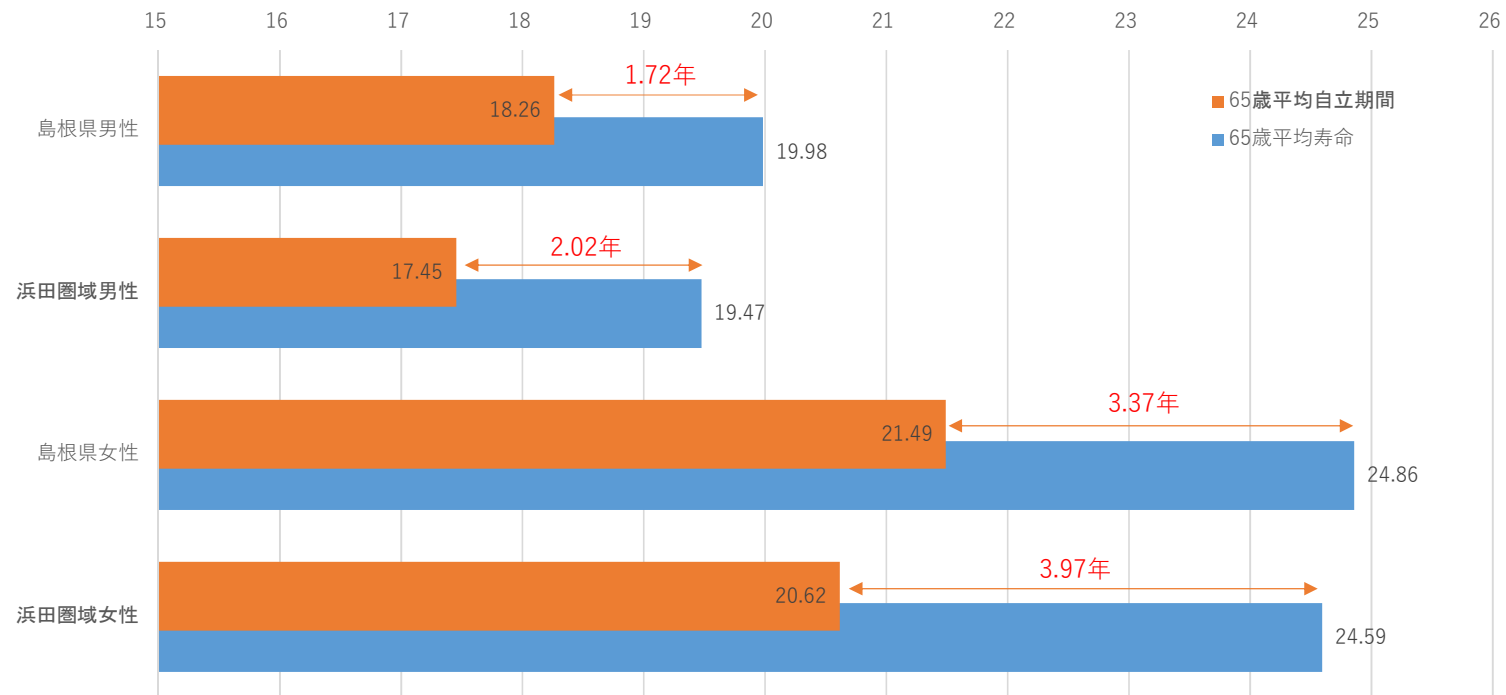
# 65歳平均自立期間の推移



※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

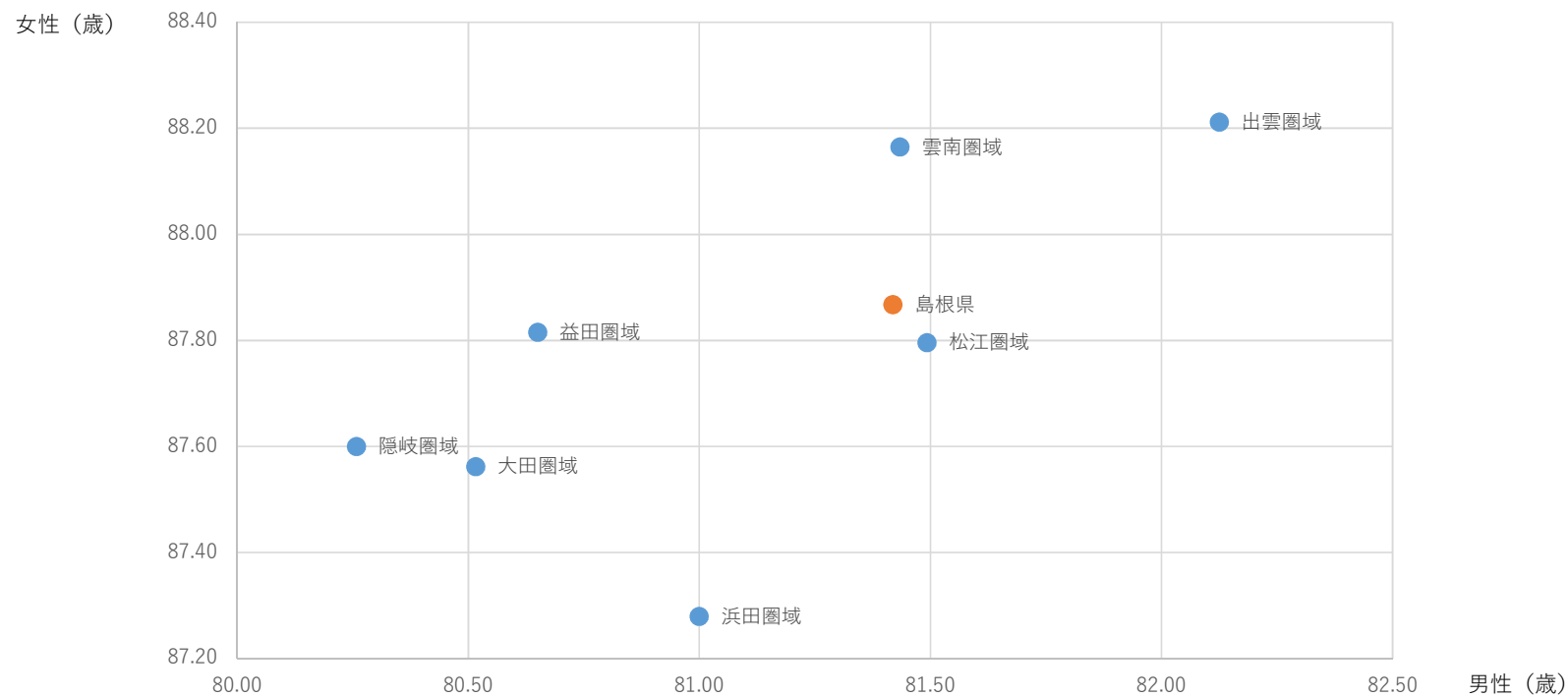


# 65歳の平均寿命と平均自立期間



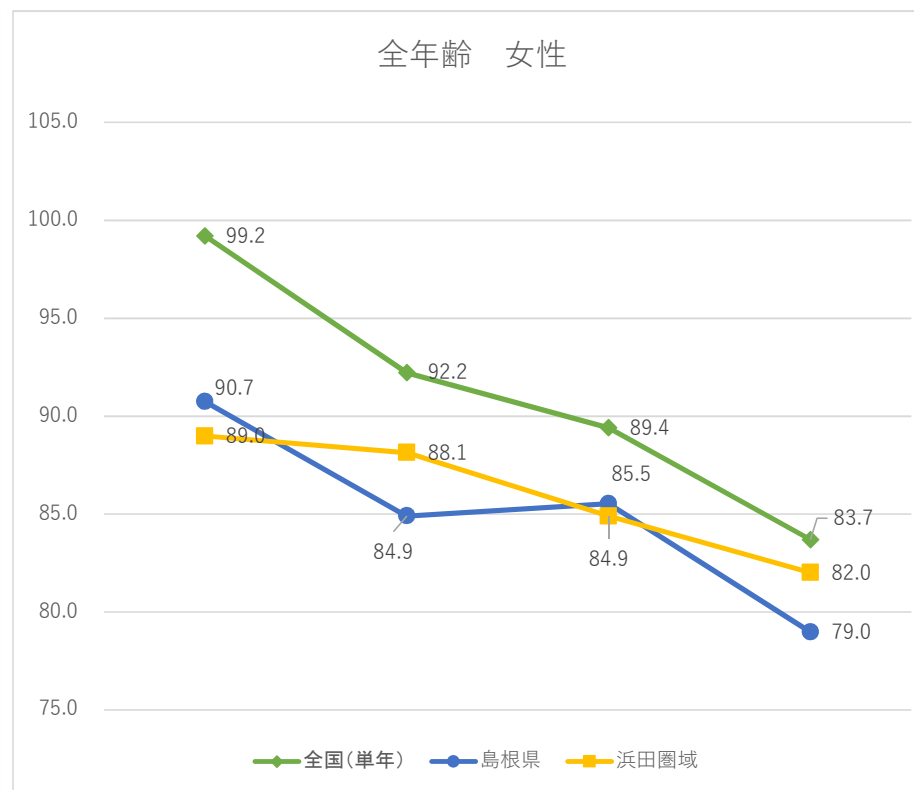
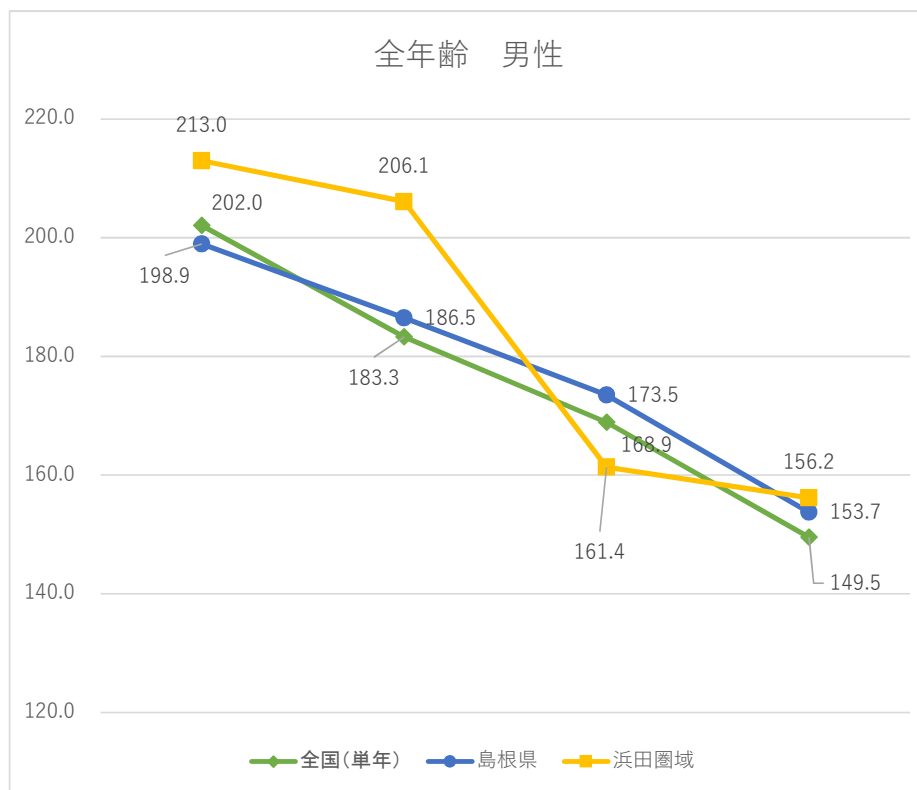
※データ : 島根県健康指標データベースシステム 令和1年(2019)年を中心とする5年平均

# 圏域別男女別平均寿命



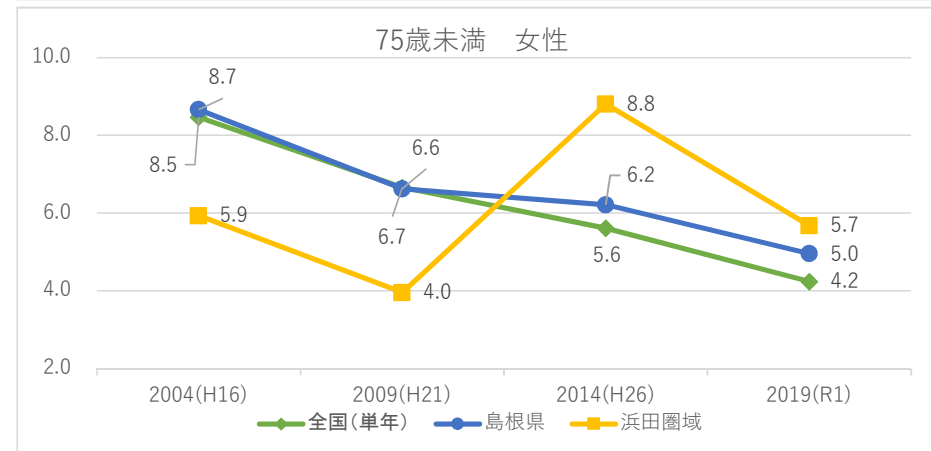
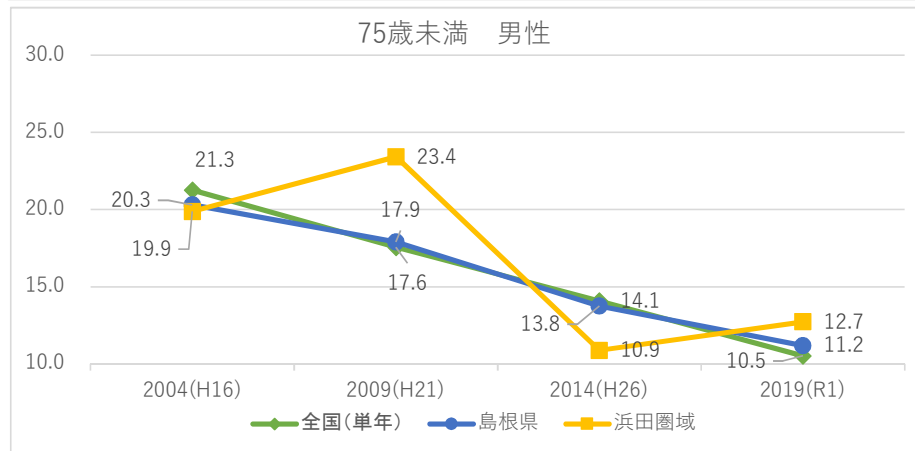
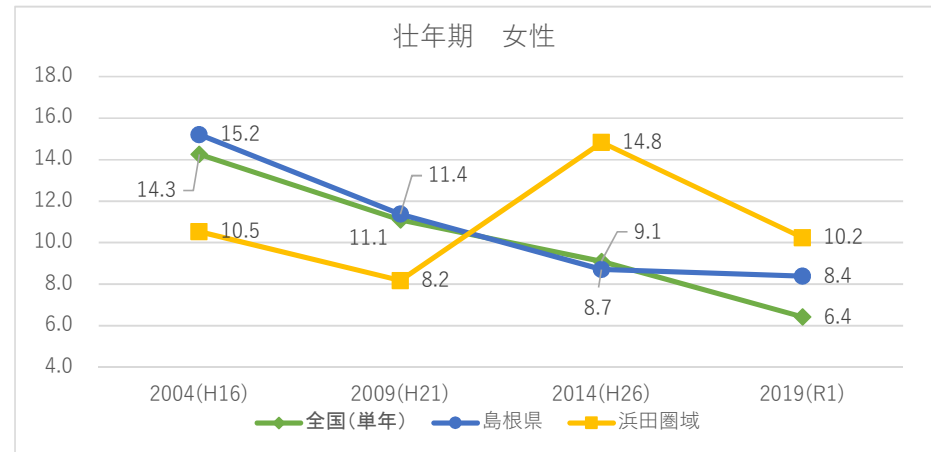
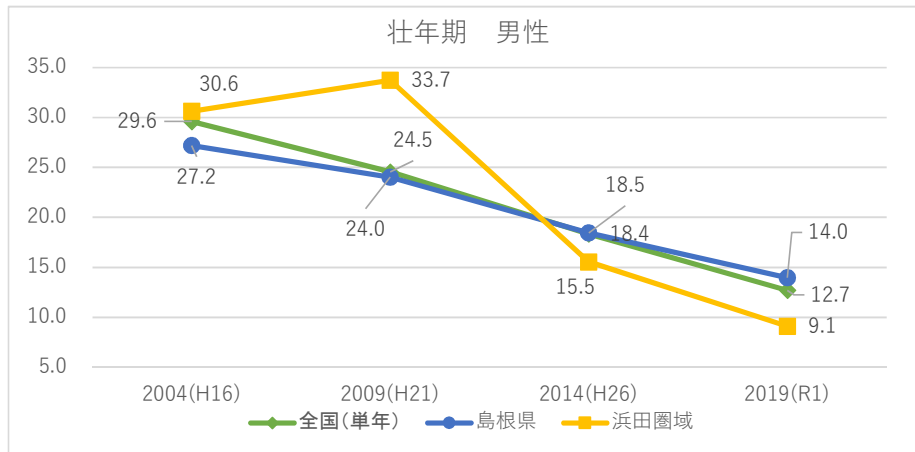
※データ : 島根県健康指標データベースシステム 令和1年(2019)年を中心とする5年平均

# 全がん年齢調整死亡率



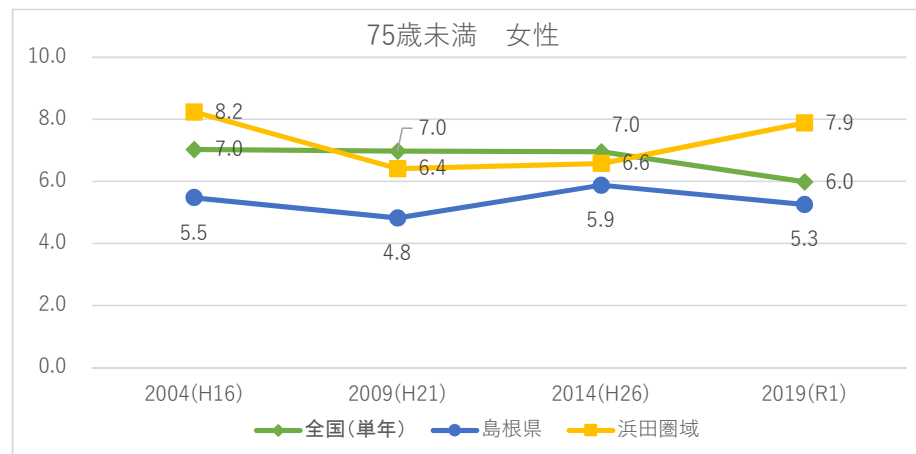
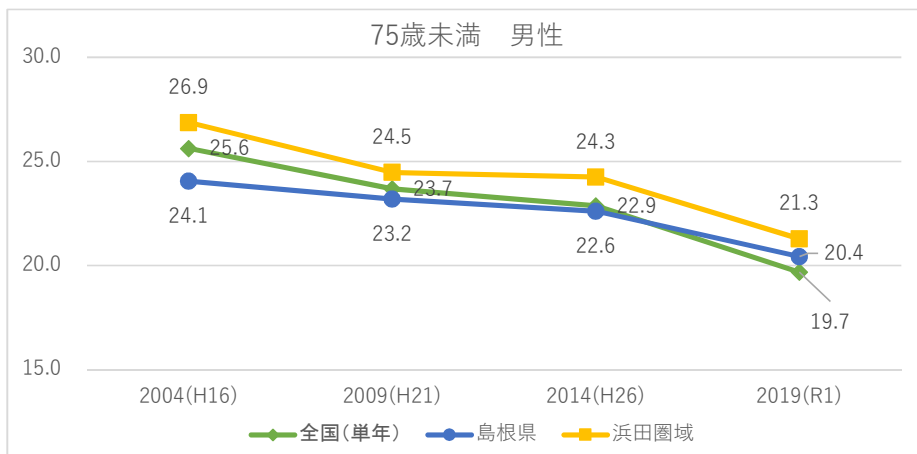
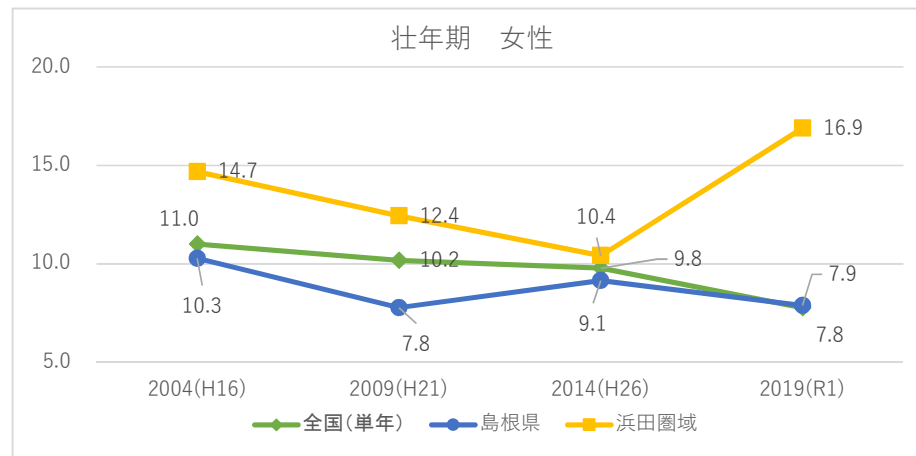
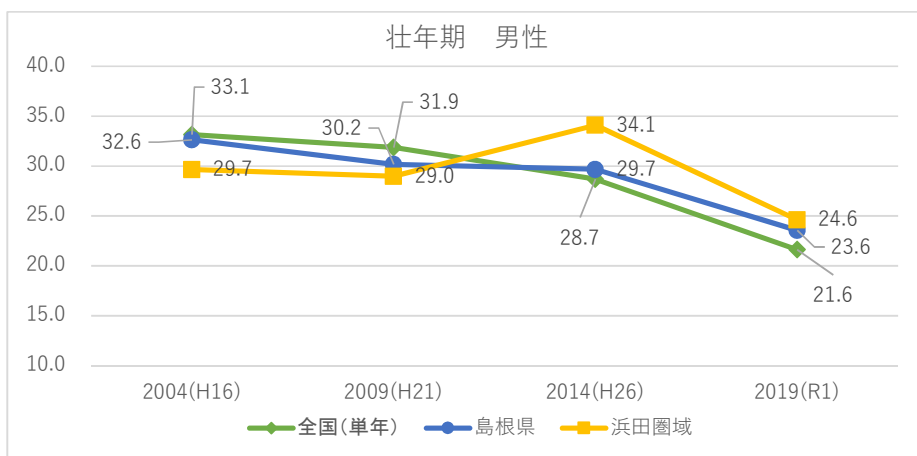
※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

# 胃がん年齢調整死亡率



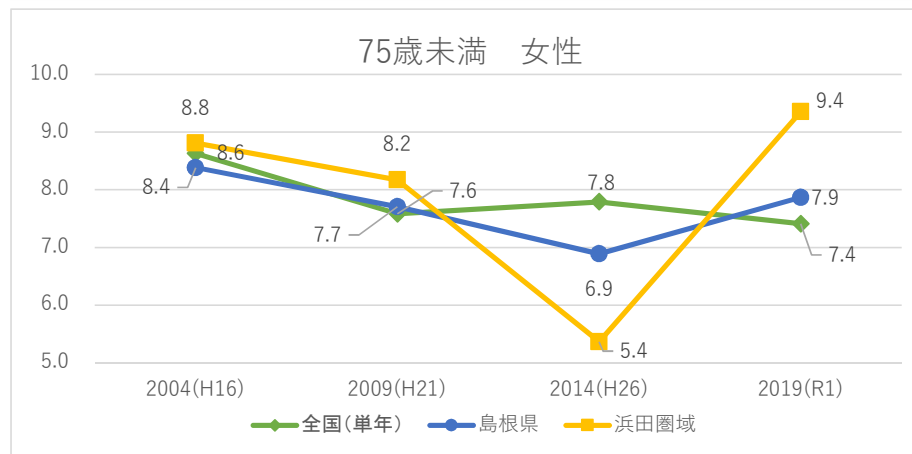
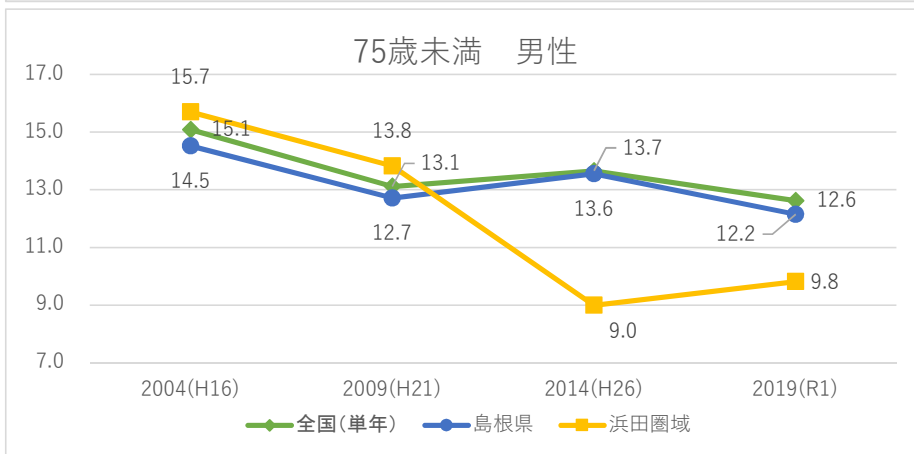
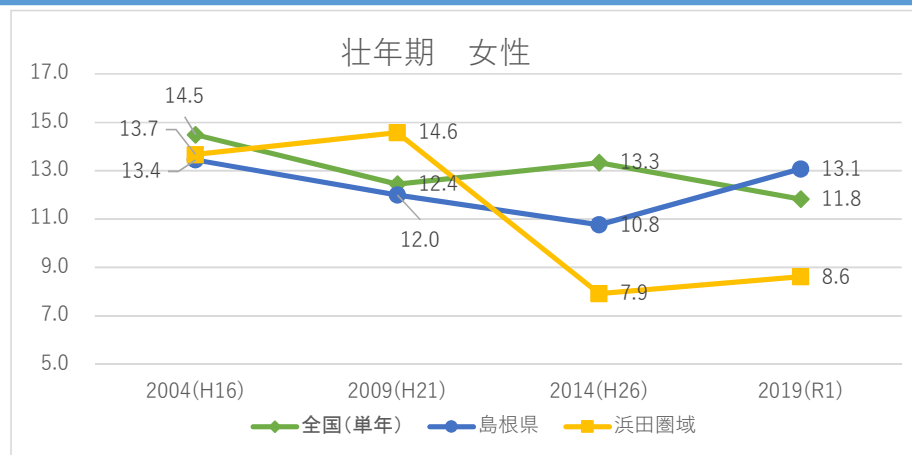
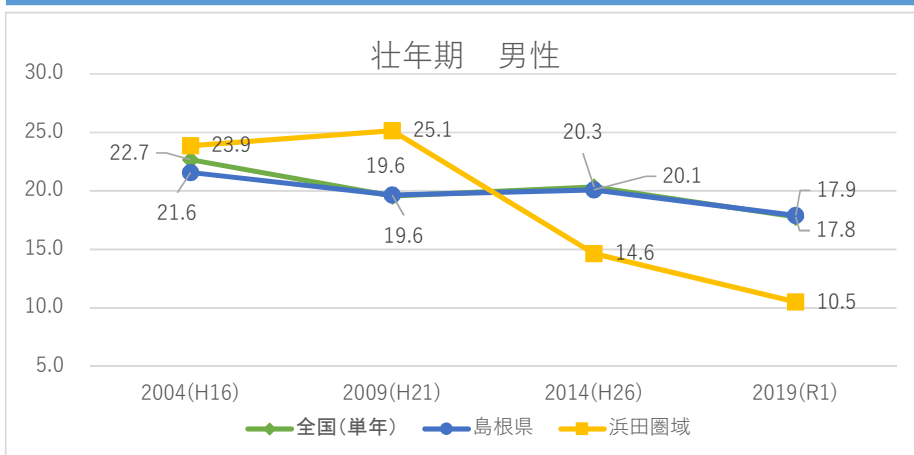
※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

# 肺がん年齢調整死亡率



※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

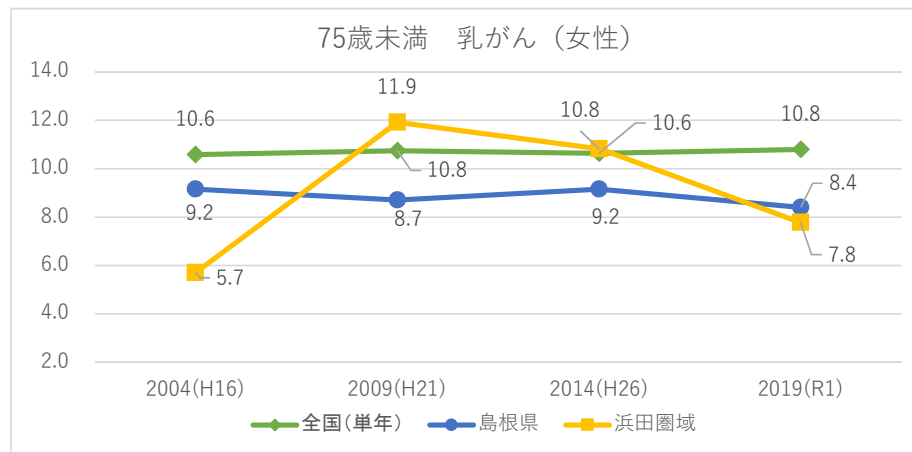
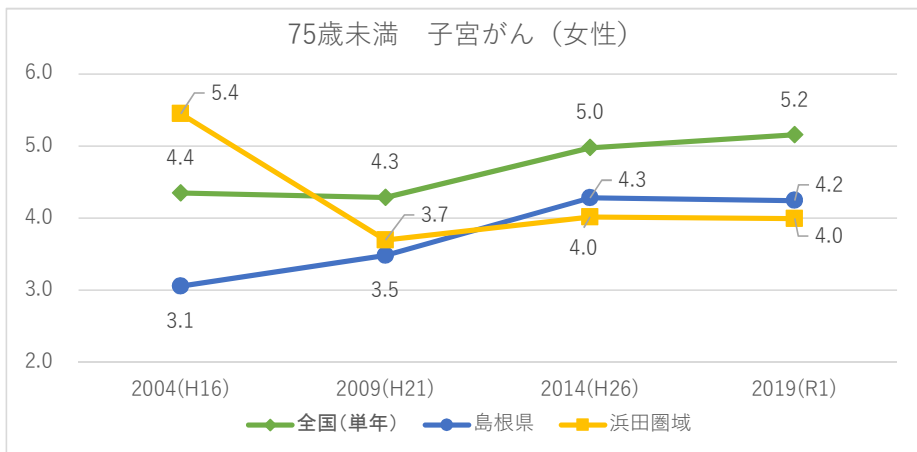
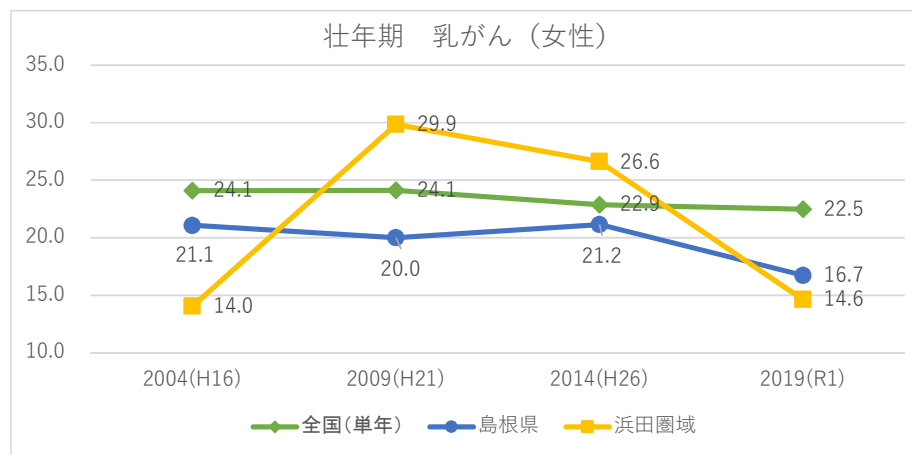
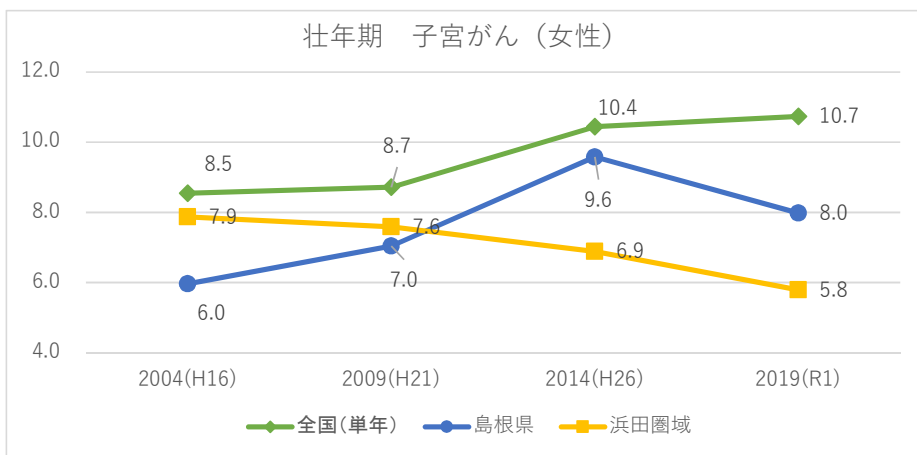
# 大腸・直腸がん年齢調整死亡率



※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

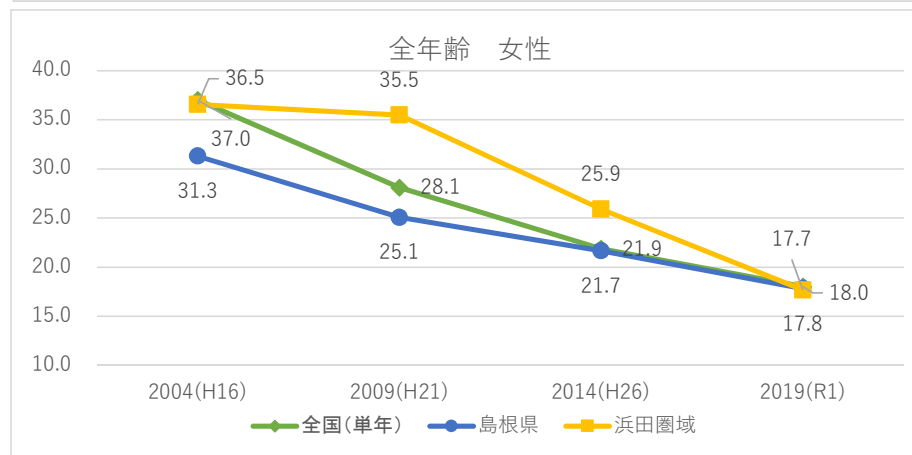
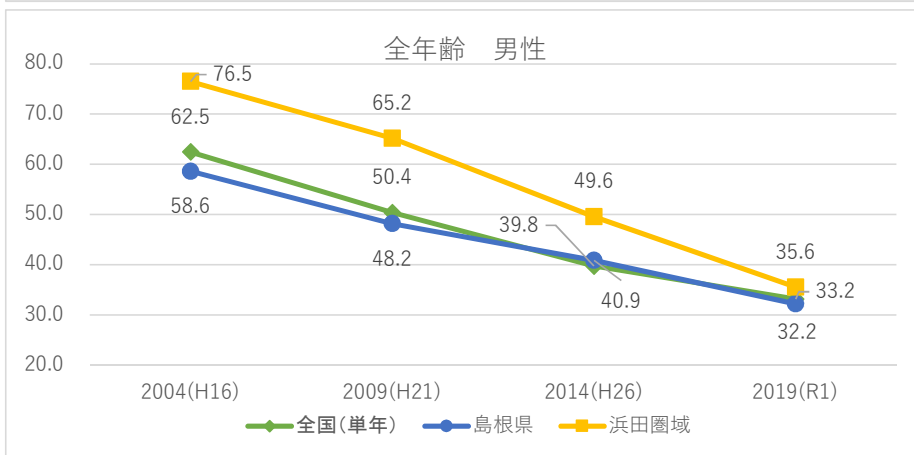
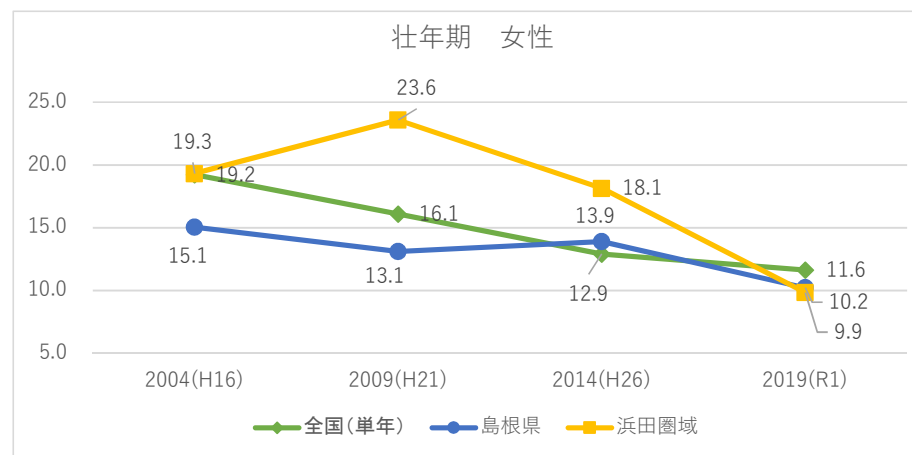
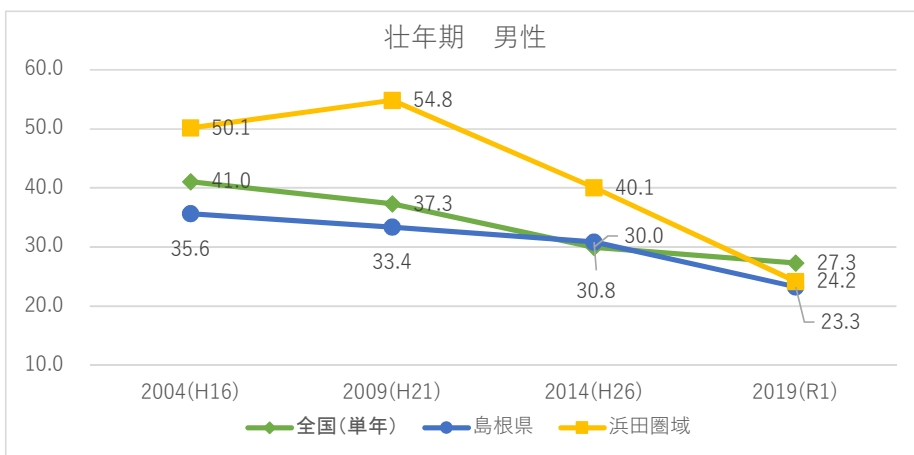
# 子宮がん年齢調整死亡率

# 乳がん年齢調整死亡率



※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

# 脳血管疾患年齢調整死亡率



※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口



# 脳卒中 圏域別年齢調整発症率(R3) (昭和60年基準人口)

年齢調整発症率を圏域別にみると、**県平均より高かったのは男性では出雲、益田、松江、隠岐圏域であり、女性では、出雲、隠岐、松江、浜田圏域**であった(図4-1)。

性別初発再発別にみると、男性の初発は益田、隠岐、出雲圏域が高く、再発は県央、松江、出雲圏域が高かった。女性の初発は益田、松江、出雲圏域が高く、**再発は隠岐、出雲、浜田圏域**が高かった(図4-2、4-3)。

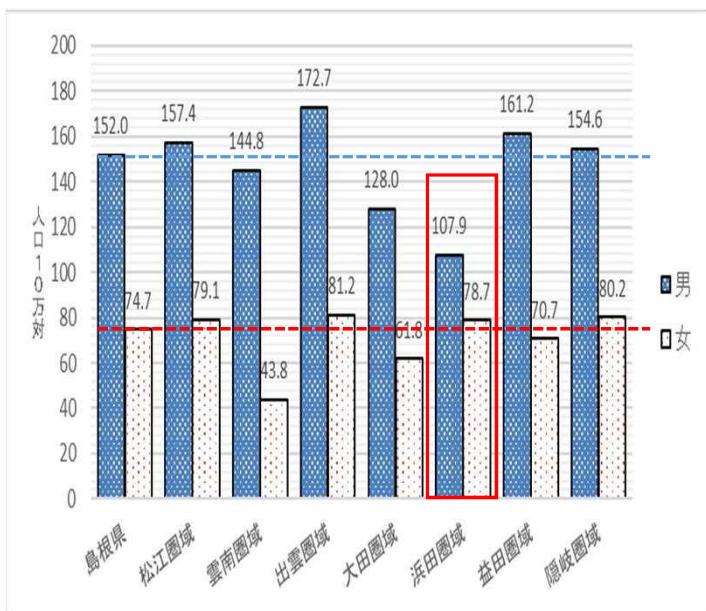


図4-1 圏域別年齢調整発症率

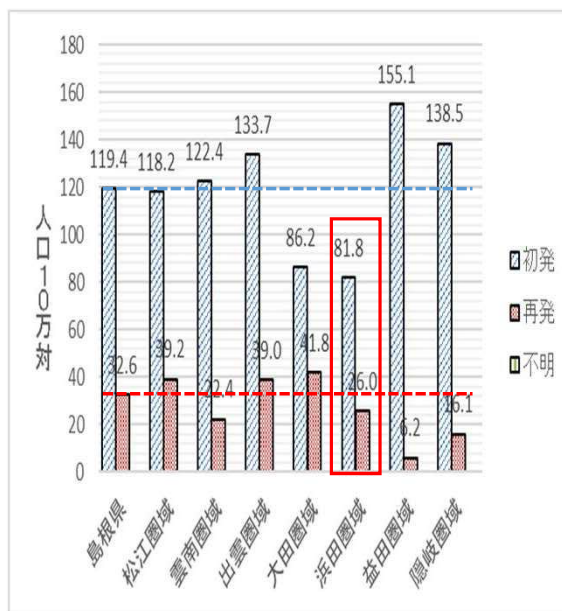


図4-2 圏域別年齢調整発症率 (男性)

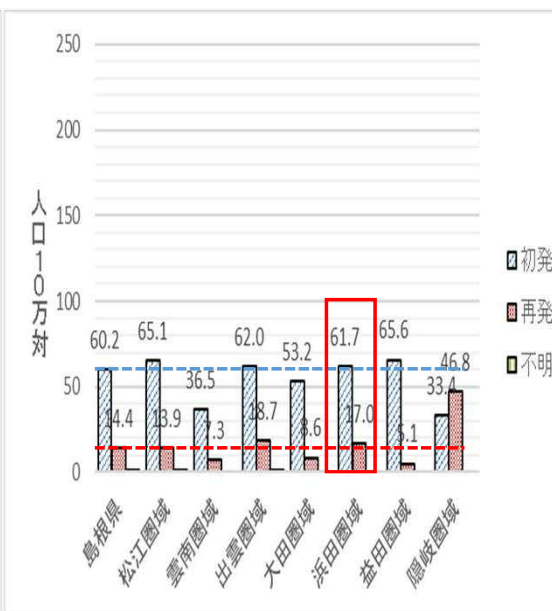
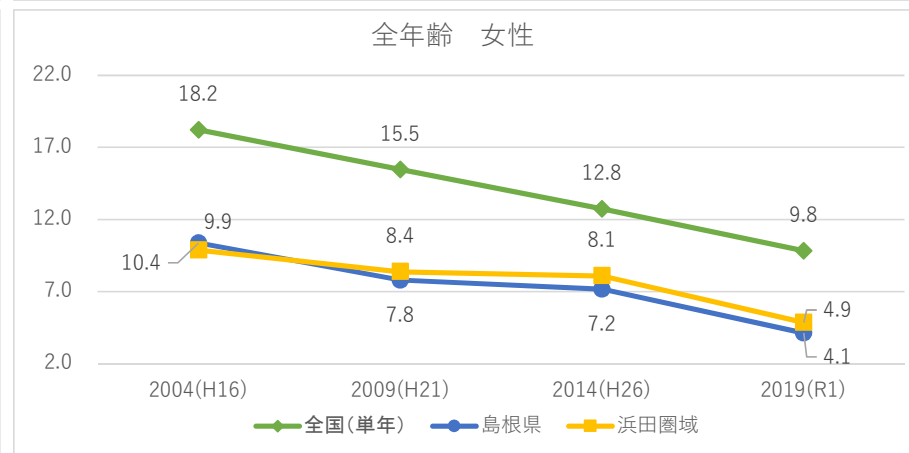
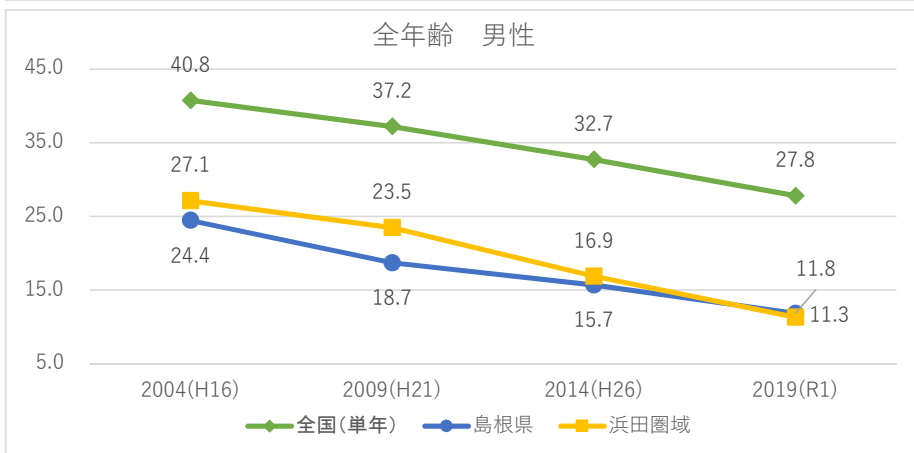
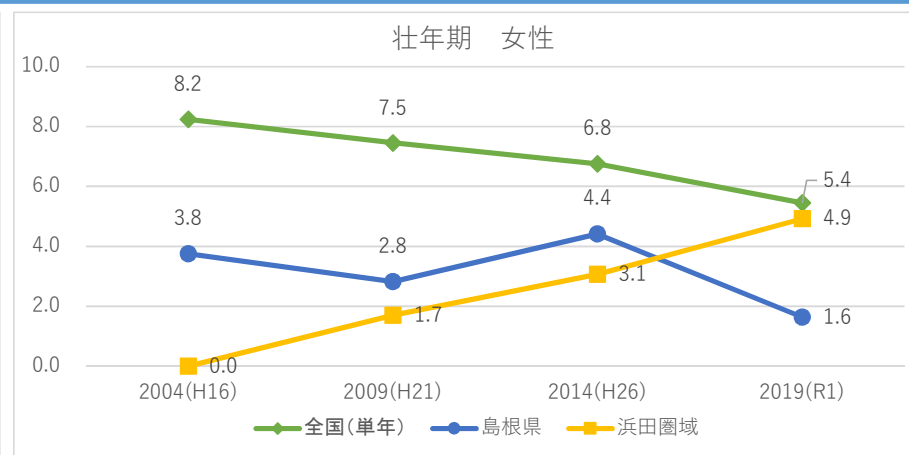
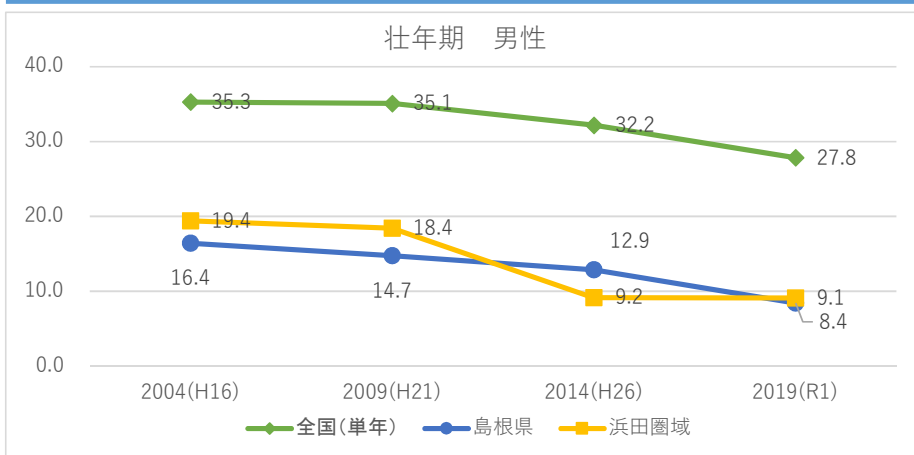


図4-3 圏域別年齢調整発症率 (女性)

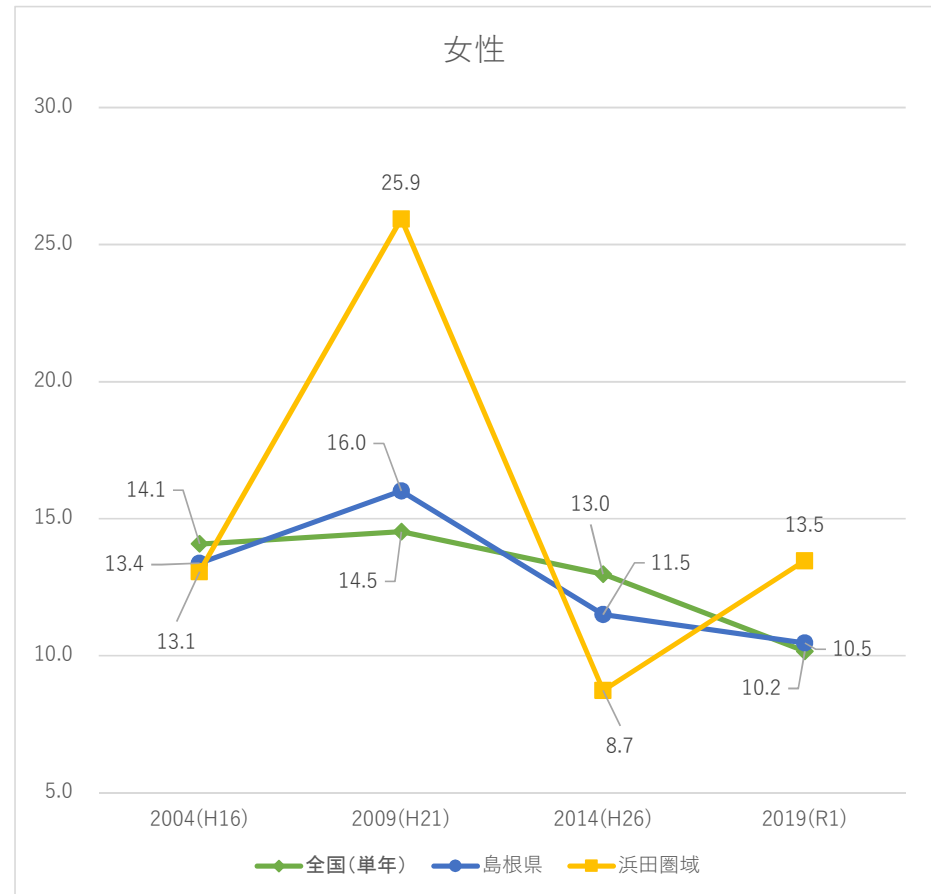
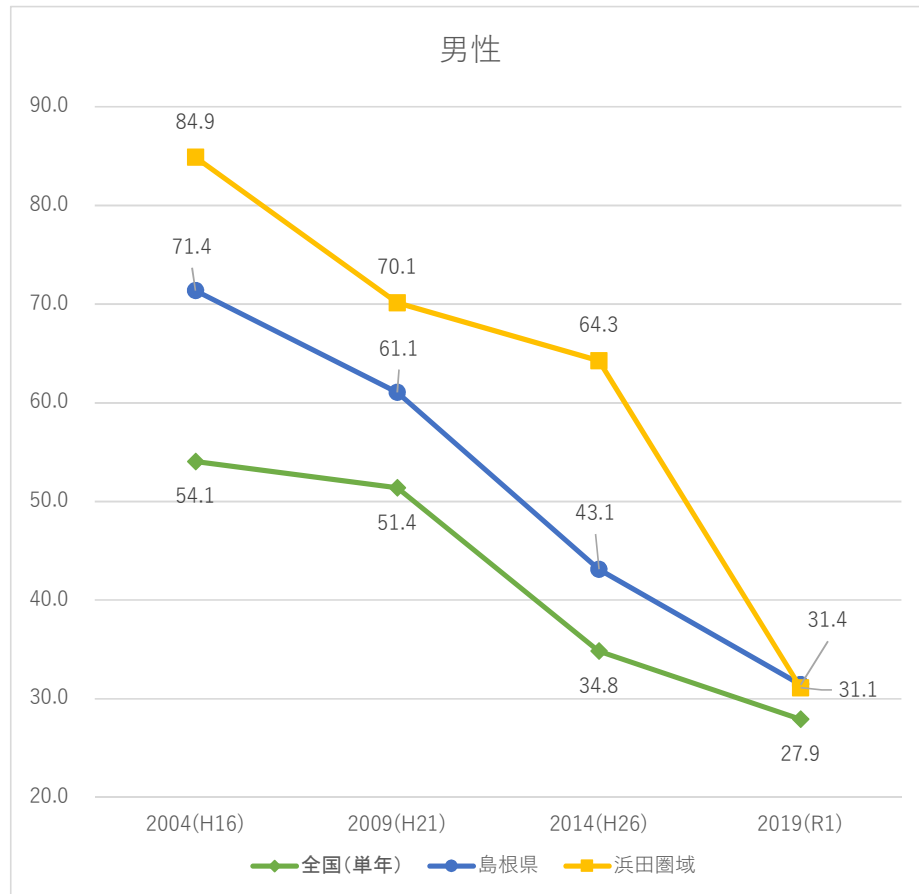
※データ：R3 島根県脳卒中発症者状況調査

# 虚血性心疾患年齢調整死亡率



※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

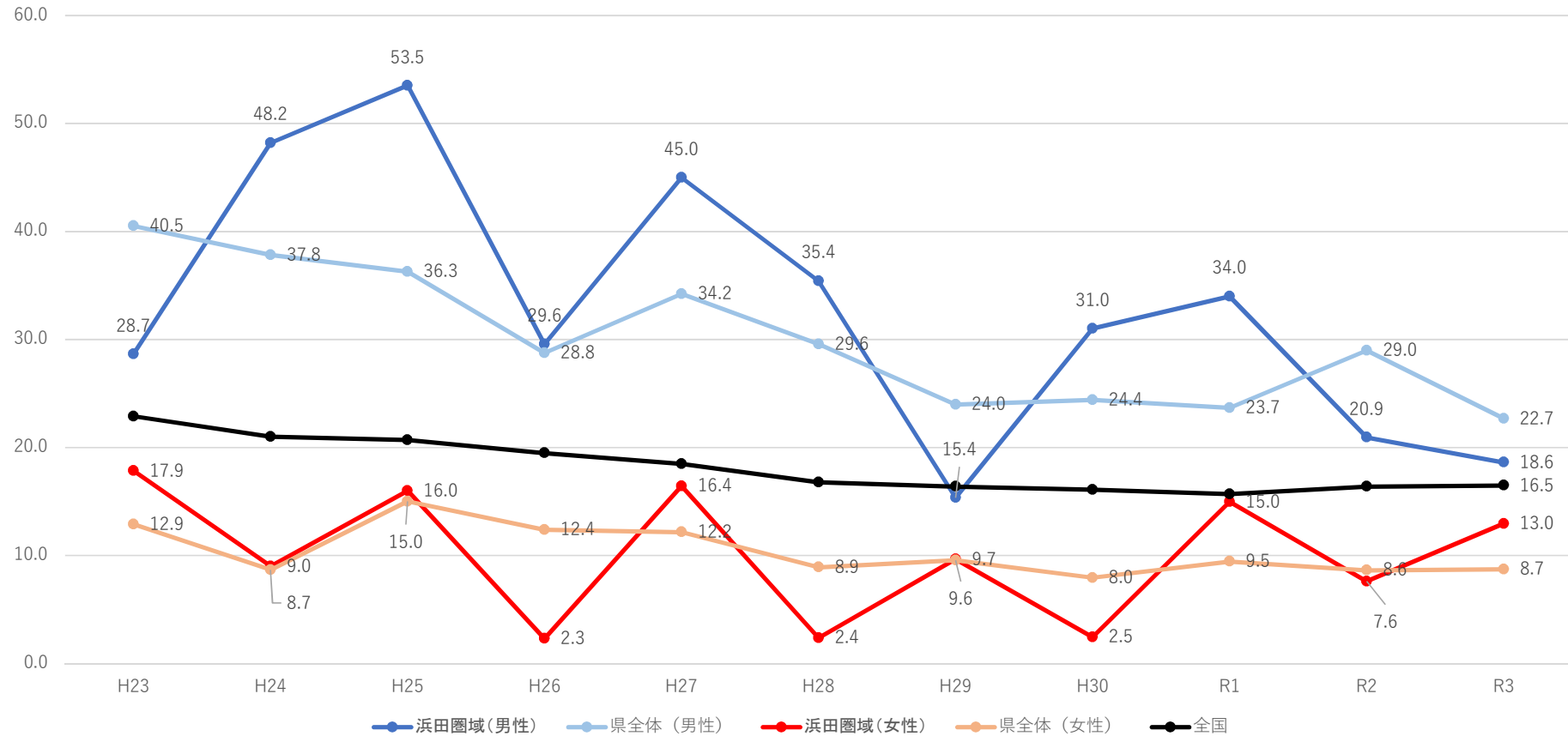
# 自殺死亡率 壮年期 (40~64歳)



※データ : 島根県健康指標データベースシステム 表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

# 自殺死亡率（全年齢）

（人口10万人当たりの自殺者数）



※データ：厚生労働省「人口動態統計」、同統計を基に障がい福祉課が作成したプロフィール

**資料 2**

**令和 4 年度 各団体の取組報告**

**浜田圏域**



## ①医療連携体制

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 新型コロナウイルス感染症に追われ、本来のあるべき体制構築が進まなかった。しかしながらいつ何時このような事態が起ころうとも地域ごとで最低限の医療提供が可能な体制作りが必要であることも実感したところである。
- 地域医療連携体制を構築するため、団体ではなく個々の病院との信頼を元に医療提供体制の向上に努めていくという方針を立案した。
- 中山間地域多職種協議会に参加し、地域における医療・介護の現状での諸問題などの情報収集を行った。
- 周術期口腔機能管理における歯科開業医との病診連携を行った。

【西川病院】

- 認知症疾患医療センター、基幹相談支援センター、居住支援センター等のセンターを併設したせいわ地域連携室を窓口とした医療福祉の連携体制をしいた。認知症専門診断管理料の算定を開始。

【済生会江津総合病院】

- 江津市医師会、能美医院とともに設立した「地域医療連携推進法人江津メディカルネットワーク」を活用し、圏域中の江津地域における医師確保等、必要最低限の医療を提供するための取り組みを進めた。
- 地域医療構想調整会議（保健医療対策会議及び同医療・介護連携部会）においては、圏域全体で関係機関の情報共有、連携について議論を行っていた。
- 地域包括ケアシステムの構築を進めるため「まめネット」の提供情報を拡大し、医療機関、介護施設等との連携を深めることとしている。

【浜田市医師会】

- 令和4年度の取組状況と同様に実施

【江津市医師会】

- 地域医療連携推進法人江津メディカルネットワークの推進

【訪問看護ステーション】

- 浜田医療センター地域連携室との意見交換
  - 浜田医師会との意見交換
  - 医療介護連携シートの活用
  - まめねっと活用

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 多職種連携会議への参加

【島根県薬剤師会 江津・邑智支部】

- 多職種連携会議、意見交換会等への参加を行っております。

【公益財団法人島根県環境保健公社】

- 「しまね医療情報ネットワーク（通称：まめネット）」との連携により、診療情報の共有を行った。

【浜田市】

- 浜田市医師会、浜田医療センターとの連携。  
広報誌でまめネットカードについて周知。

【江津市】

- 市の広報紙でまめネットカードについて周知



【浜田保健所】

- 病院事務長等連絡会議を開催し、情報共有（コロナ等）した。医療・介護連携部会を開催し、地域医療構想や在宅医療・介護連携について検討した。

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- ・強固な医療連携体制の構築に努める。
  - ・前年度に立案した体制作りを実践していく。
  - ・当院主催で市内の施設との協議会の開催を計画する。
  - ・引き続き、周術期口腔機能管理の病診連携を継続運用する。

【西川病院】

- 認知症サポート医研修等を通じて、認知症専門診断管理料算定について発信を継続

【済生会江津総合病院】

- ・地域医療連携推進法人の取り組みを強化し、医師確保の他にも様々な連携を図っていくこととする。
  - ・地域医療構想調整会議（保健医療対策会議及び同医療・介護連携部会）においても、継続して情報共有、連携の議論を進める。
  - ・「まめネット」の提供情報拡大により、さらなる市内医療機関等への普及、また多くの市民の参加促進を図る。

【浜田市医師会】

- 浜田医療センター、浜田市役所と連携継続

【江津市医師会】

- 江津市内の医療体制の推進

【訪問看護ステーション】

- ・浜田医療センターだけでなく、済生会江津総合病院の連携室も含めた意見交換
  - ・浜田医師会や浜田市との意見交換
  - ・医療介護連携シートやまめネットの活用を継続するとともに、新たな連携方法の検討

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

【島根県薬剤師会 江津・邑智支部】

- 引き続き多職種連携会議等への積極的な参加を各薬局に呼びかける。

【公益財団法人島根県環境保健公社】

- 引き続き「まめネット」との連携を強化する。

【浜田市】

- 継続実施

【江津市】

- 令和4年度の取組状況と同様に実施。

【浜田保健所】

- 令和5年度は第8次保健医療計画策定に向けての作業の年となるため、保健医療対策会議や医療・介護連携部会を複数回開催予



## ②医療に関する情報提供の推進

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本来の情報提供が出来なかった。地域毎で最低限の医療に関する情報の発信ができる体制作りが必要であることも実感した。
- 当院主催の各委員会及び協議会（含む書面会議）を開催し、行政機関等関係各所へ当院の現状を情報発信した。
- 地域の医療従事者を対象とした研修会をzoomを使って実践した。
- 浜田市を中心とした県西部において、まめネットが十分に活用されていないため、普及の推進や有効活用に向けた協議を島根県医療対策課と行う予定であったが、コロナ感染拡大により中止となった。
- 慢性腎臓病患者における適切な投与の防止などのリスクを回避するため、お薬手帳へのCKDシール貼付の運用を継続している。

【西川病院】

- 浜田市立図書館を活用し、専門図書のポスター掲示により紹介や、地域住民を対象とした啓発イベント「こころの保健室in浜田」を開催。市内の小学校（生徒・保護者）を対象としたメンタルヘルスリテラシー教育を実施。

【済生会江津総合病院】

- 診療情報等の診療情報提供については、医療の透明性、患者の自己決定権を確保するため、引き続き積極的な提供を行った。
- 外国人が安心して適切な医療が受けられるよう多言語表示案内板を設置したり、タブレットを活用する等環境整備を行った。

【西部島根医療福祉センター】

- 継続して行ってきた各疾患、障がいについての研修会（リウマチ教室や重症の方を支援する家族・介護者への講義等）について、感染症予防対策にて未実施。パネル掲示などにて情報提供を行う。

【浜田市医師会】

- 地域医療を守り育てる住民運動の催しを開催

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 多職種連携会議への参加、職務にて遂行

【島根県薬剤師会 江津・邑智支部】

- 昨年同様ではございますが、現在各薬局と医療機関の關係に任せている状況です。

【浜田市】

- 浜田の地域医療を守る会の活動をサポート。浜田市内医療機関情報をホームページに掲載。

【全国健康保険協会 島根支部】

- ジェネリック医薬品軽減額通知の実施、医療費通知の実施、医療機関及び薬局へのジェネリック使用割合等の情報提供、医療費分析結果の關係機関への情報提供

【浜田保健所】

- 島根県医療機能情報システムにより、病院、診療所、歯科診療所、助産所、薬局の情報を提供している。

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 多様な情報提供の手段を検討していく。
- 今後も定期的に継続開催し、情報発信していく。オンライン等による開催も検討していく。
- 今後も継続し、コロナの状況によっては実習形式の研修も計画していきたい。
- 引き続き、まめネットの普及、有効活用について島根県医療政策課と協議していく。
- 引き続きCKDシール貼付を継続運用していく。

【西川病院】

- ころの保健室は継続開催予定。市内の小学校を対象としたメンタルヘルスリテラシー教育についても継続開催予定。

【済生会江津総合病院】

- 診療情報等の診療情報の提供については、医療の透明性、患者の自己決定権を確保するため、引き続き積極的な提供を行う。
- 引き続き外国人が安心して適切な医療が受けられるよう環境整備を行う。

【西部島根医療福祉センター】

- 感染症の状況を見ながらであるが、研修会等実施予定。

【浜田市医師会】

- 浜田市の地域医療を守る会の活動をサポート  
浜田市の医療機関情報をホームページに掲載

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

【島根県薬剤師会 江津・邑智支部】

- 引き続き他の医療機関のやり方を参考に少しずつ良いものを構築していくことを呼びかけていく。

【浜田市】

- 県内で順に開催されてきた「地域医療を守り育てる住民活動」の催しを令和6年度に浜田市で開催。

【全国健康保険協会 島根支部】

- ジェネリック医薬品軽減額通知の実施、医療費通知の実施、医療機関及び薬局へのジェネリック使用割合等の情報提供、医療費分析結果の関係機関への情報提供

【浜田保健所】

- 継続実施

### ③がん

#### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】

- がん予防の強化として健診センターのさらなる充実を検討した。
- ・がん患者等に対する妊孕性温存療法支援事業におけるがん生殖医療連携ネットワークのWEB会議に参加した。
- ・緩和ケアの精神科医師の確保や緩和ケア従事の医師の確保を目指しているが採用にいたっていない。
- ・がん登録では、がん医療の実態を把握し、がん医療の向上や、がん対策の策定・評価に資する資料の整備を進めている。
- ・例年はがん等の疾病ごとに市民公開講座を開催し、普及啓発活動をおこなっていたが、前年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスの影響により開催が出来なかった。

【西川病院】

- 岡山大学、島根大学の研究協力機関として、浜田市在住の精神障害のある方へ大腸癌検診勧奨を行った。

【済生会江津総合病院】

- 「がん情報提供促進病院」として「地域がん診療連携拠点病院」である浜田医療センターと連携して、がん情報の提供を行った。
- ・緩和ケアや意思決定支援の考え方についての市民公開講座等を江津市と連携してACP研修会を2回開催した。

【西部島根医療福祉センター】

- がん検診の勧奨

【浜田市医師会】

- 感染予防を講じたがん検診の実施  
がん教育や啓発活動を実施

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 職務にて遂行

【公益財団法人島根県環境保健公社】

- 浜田市及び江津市より委託いただいた住民がん検診の実施。

【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】

- がん検診受診の啓発活動

【浜田市】

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、予約制とし安心して受診できる体制でがん検診を実施。がん検診の無料化の継続。がんサロンとのがん教育や啓発事業を実施。

【江津市】

- 新型コロナウイルス感染対策を実施しながら各種がん検診の実施
  - ・受診啓発活動
  - ・一部検診費用の助成
  - ・大腸がん検診の国保加入者へキットの無料配布
  - ・精密検査対象者への受診勧奨
  - ・がんケアサロン江津（患者会）への支援
  - ・がん予防に関する出前講座

【全国健康保険協会 島根支部】

- 健診・保健指導の実施、食生活・禁煙等に関する出前講座の実施

【浜田保健所】

- 事業所訪問やイベント等においてがん予防の促進及びがん検診受診率向上に向けて普及啓発の実施。
  - ・浜田圏域がん対策担当者会を開催し、浜田市及び江津市等とがん対策の取組などについて情報・意見交換を行った。



## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- ・引き続き具体的な対策を検討する。
- ・引き続き継続して参画する。
- ・引き続き医師確保に努めていく。
- ・今後の継続していく。
- ・コロナが収束すれば従前通り市民公開講座等により普及啓発活動を再会させたい。
- ・がん教育について、行政等から講師派遣等の要請があれば検討したい。

【西川病院】

- 大腸癌検診勧奨については2029年までに継続実施が決定している。

【済生会江津総合病院】

- ・引き続き「がん情報提供促進病院」として「地域がん診療連携拠点病院」である浜田医療センターと連携して、がん情報の提供を行う。
- ・市民公開講座等についてはコロナ感染状況を考慮し開催し、啓発に努める。
- ・ACPの市民への普及活動を認定看護師と行政で連携して行う。

【西部島根医療福祉センター】

- 継続。

【浜田市医師会】

- 各種がん検診の実施  
がんサロンとのがん教育や啓発活動の実施

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

【公益財団法人島根県環境保健公社】

- 引き続き各市と連携し、がん検診の受診率向上に努める。

【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】

- がん検診受診のための啓発活動

【江津市連合自治協議会会長】

- がん検診の日程表・各戸（約360戸）に配布した

【浜田市】

- 継続実施

【江津市】

- ・受診啓発活動
  - ・一部検診費用の助成
  - ・精密検査対象者への受診勧奨
  - ・がんケアサロン江津（患者会）への支援
  - ・がん予防に関する出前講座
  - ・島大産婦人科教室との共同研究および市民講座

【全国健康保険協会 島根支部】

- 健診・保健指導の実施、食生活・禁煙等に関する出前講座の実施

【浜田保健所】

- ・引き続きがん予防の促進及びがん検診受診率向上に向けて普及啓発を実施。
  - ・浜田圏域がん対策担当者会の開催

## ④脳卒中

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間ドックのメニューとして脳ドックを実施している。</li> <li>● 脳卒中チームを立ち上げ、脳卒中の専用病床を整備しており、運用を継続している。また、血栓回収や頸動脈ステント留置を継続している。</li> <li>● 地域医療連携室を中心に地域の医師会や医療機関と連携して地域医療ネットワークを整備し、地域の患者様が安心して継続的医療を受けられるようサービスの向上を図っている。また、在宅や施設への退院、他の医療機関への転院など退院に伴う支援を行っている。</li> </ul>
【済生会江津総合病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当院では脳卒中治療について、浜田医療センター（t-PAによる血栓溶解療法、脳出血の手術、脳動脈瘤クリッピング等を実施）と連携し、主に救急からの二次医療、並びに回復期のリハビリテーションを実施している。</li> </ul>
【西部島根医療福祉センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 成人病リスクの高い方に対し、栄養指導を実施（予防対策）</li> </ul>
【浜田市医師会】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浜田医療センター退院後、家庭訪問、再発予防の指導を実施 出前講座等で生活習慣予防普及</li> </ul>
【島根県薬剤師会 浜田支部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職務にて遂行</li> </ul>
【浜田市消防本部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応急手当講習時に心停止の予防として、初期症状の解説、「早期認識・早期通報」について指導した。</li> </ul>
【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 減塩・野菜接種の啓発 プラスワンのチラシの配布 減塩メニュー野菜接種のレシピ配布中</li> </ul>
【浜田市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳卒中発症調査・訪問の実施。生活習慣病予防を目的として「はまだ健活事業所応援プロジェクト」「はまだ健康チャレンジ事業」の実施。特定健診・特定保健指導の実施。</li> </ul>
【江津市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1次予防：地域での健康教室やちらし配布、広報での予防啓発活動、職域保健部会活動（尿中塩分測定と事後フォロー他）</li> <li>● 2次予防：特定健診からハイリスク者（高血圧、脂質異常、糖尿病、CKD）を抽出し、受診勧奨および重症化予防指導の実施 定期受診中断者（高血圧、脂質異常、糖尿病）へのはがきでの受診勧奨</li> <li>● 3次予防：脳卒中発症登録システムによる医療機関との連携及び発症者への個別保健指導実施</li> <li>● その他：生活習慣病対策について医師会等との意見交換会実施</li> </ul>
【全国健康保険協会 島根支部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健診・保健指導の実施、食生活・禁煙等に関する出前講座の実施</li> </ul>
【浜田保健所】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳卒中予防対策にかかる体制整備として、地域連携クリティカルパス合同委員会への参加。</li> <li>● 脳卒中再発予防として脳卒中情報システム事業の実施し、発症者の状況把握や市の家庭訪問へとつなげている。</li> </ul>

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 人間ドックのメニューとして脳ドックを実施継続。
- 脳卒中チームを立ち上げ、脳卒中の専用病床を整備しており、運用を継続。また、血栓回収や頸動脈ステント留置を継続していく。
- 地域医療連携室を中心に地域の医師会や医療機関と連携して地域医療ネットワークを整備し、地域の患者様が安心して継続的医療を受けられるようサービスの向上を図る。また、在宅や施設への退院、他の医用機関への転院など退院に伴う支援を継続。

【済生会江津総合病院】

- 引き続き、現行体制の維持と浜田医療センター等関係機関との連携により、圏域の脳卒中患者に対する必要な医療提供体制の確保に努める。
- 浜田医療センターとICTを活用した連携体制の整備と連携強化を行う。

【西部島根医療福祉センター】

- VRリハの導入により、亜急性期以降のリハビリを効果的に行う。また慢性期（維持期）の方に対し、機能低下の予防・早期発見・早期治療（医療・介護）栄養指導の実施。

【浜田市医師会】

【島根県薬剤師会 浜田支部】

【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】

【浜田市】

【江津市】

- 令和4年度取組状況と同様に実施
- 昨年と同様
- 昨年と同様な取り組み プラス1の取り組み
- 継続実施
- 令和4年度取組同様に実施
- 加えて、高血圧でハイリスク者に尿中塩分測定を実施し指導を行う

【全国健康保険協会 島根支部】

【浜田保健所】

- 健診・保健指導の実施、食生活・禁煙等に関する出前講座の実施
- 脳卒中発症者状況調査の実施。
- 引き続き、脳卒中発症者の状況確認、再発予防のための訪問支援。

## ⑤心筋梗塞等の心血管疾患

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間ドックのオプションとして動脈硬化検診や頸動脈超音波検診を実施している。</li> <li>・ 緊急のカテーテル治療、積極的なカテーテル検査を行っている。また、心臓リハビリテーション指導士を配置しており島根県西部で心臓リハビリテーションが受けられる唯一の施設として治療を行っている。</li> </ul>
【済生会江津総合病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 心筋梗塞治療として、血栓溶解療法や冠動脈造影検査に続く経皮的冠動脈インターベンション（PCI）を実施しており、心血管疾患に係わる救急医療を担う医療機関として役割を担っている。</li> <li>・ 心不全看護外来、高血圧予防外来を実施し、慢性心不全や高血圧の予防、重症化予防に努めている。</li> <li>・ 江津版心不全ポイントを活用し、心不全の重症化予防に取り組んでいる。</li> <li>・ 心不全連携パスの活用、心不全多職種カンファレンスを行い、急性期から生活期まで一貫したリハビリテーションが提供出来るよう、心大血管リハビリテーションの導入を開始した。</li> </ul>
【西部島根医療福祉センター】	● 成人病リスクの高い方に対し、栄養指導を実施（予防対策）
【浜田市医師会】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特定健診の実施、保健指導の実施</li> <li>高血圧、糖尿病等の未治療者に対し受診勧奨</li> </ul>
【江津市医師会】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医師、看護師、栄養士、行政等の多職種連携で、心血管疾患予防を考えるフォーラムの開催予定が新型コロナウイルス感染防止のため中止</li> </ul>
【島根県薬剤師会 浜田支部】	● 職務にて遂行
【江津市ケアマネージャー部会】	● 済生会と連携し心不全ポイントの活用を図っている
【浜田市消防本部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応急手当講習時に心停止の予防として、初期症状の解説、「早期認識・早期通報」について指導した。</li> </ul>
【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 減塩・野菜接種のための啓発活動</li> <li>プラス1ファイルのパンフレット使用</li> </ul>
【浜田市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特定健診、特定保健指導の実施。特定健診受診者のうち、「高血圧」「糖尿病」「腎機能」ハイリスク者でかつ未治療者への受診勧奨。生活習慣予防の取組推進（減塩、たばこ対策など）</li> </ul>
【江津市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1次予防：地域での健康教室やちらし配布、広報での予防啓発活動、職域保健部会活動（尿中塩分測定と事後フォロー他）</li> <li>・ 2次予防：特定健診からハイリスク者（高血圧、脂質異常、糖尿病、CKD）を抽出し、受診勧奨および重症化予防指導の実施</li> <li>定期受診中断者（高血圧、脂質異常、糖尿病）へのはがきでの受診勧奨</li> <li>・ その他：生活習慣病対策について医師会等との意見交換会実施</li> </ul>
【全国健康保険協会 島根支部】	● 健診・保健指導の実施、食生活・禁煙等に関する出前講座の実施

【浜田保健所】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の取組支援として各市や医療機関へのデータ提供。</li> <li>●病院の連絡会や会議への参加。</li> </ul>
<b>今後の計画等</b>	
【国立病院機構 浜田医療センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●・人間ドックのオプションとして動脈硬化検診や頸動脈超音波検診を実施継続。</li> <li>・緊急のカテーテル治療、積極的なカテーテル検査を行っている。また、心臓リハビリテーション指導士を配置しており、島根県西部で心臓リハビリテーションが受けられる唯一の施設として治療を継続。</li> </ul>
【済生会江津総合病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●・現行体制を維持し、心血管疾患の専門治療を行う病院としての機能を維持する。</li> <li>・引き続き看護外来等を実施し、江津版心不全ポイントや心不全連携パスの活用により地域の多職種連携で、慢性心不全患者の再発予防、重症化予防に努める。</li> <li>・心大血管リハを継続実施し、ヘルスリテラシー向上により重症化予防に努める。</li> </ul>
【西部島根医療福祉センター】	●継続。
【浜田市医師会】	●令和4年度の取組状況と同様に実施
【江津市医師会】	●多職種連携の推進
【島根県薬剤師会 浜田支部】	●昨年と同様
【江津市ケアマネージャー部会】	●身近なかかりつけ医でも活用の幅が広がらないか議論を重ねる
【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】	●4年度の取り組み状況を参考にする
【浜田市】	●継続実施
【江津市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●・令和4年度の取組状況同様に実施</li> <li>・加えて、高血圧でハイリスク者に尿中塩分測定を実施し指導を行う</li> </ul>
【全国健康保険協会 島根支部】	●健診・保健指導の実施、食生活・禁煙等に関する出前講座の実施
【浜田保健所】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再発予防の実施や高血圧、脳卒中の早期発見・早期対応のための普及啓発の実施、データ還元などによる市町村支援、会議への参加を継続する。</li> </ul>



## ⑥糖尿病

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間ドックの検査内容の中で糖尿病検査も実施し、早期発見に努めている。</li> <li>● 他科の医師と連携して合併症予防に努めている。</li> <li>● 糖尿病教室が今年度は新型コロナの影響等で開催できていない。</li> </ul>
【済生会江津総合病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門の常勤医が不在の中、非常勤医師のみで現行の医療提供体制を維持している。</li> <li>● 糖尿病友の会（なでしこの会）を年数回開催し、糖尿病患者の療養指導の充実や合併症予防・重症化予防に取り組んでいる。（今年度は病院内掲示のみ）</li> <li>● フットケア外来を開催し、足のトラブル予防に努めている。</li> </ul>
【西部島根医療福祉センター】	● 成人病リスクの高い方に対し、栄養指導を実施（予防対策）
【浜田市医師会】	● 糖尿病性腎症重症化予防事業の継続実施 糖尿病相談の実施、保健従事者の研修会の開催
【江津市医師会】	● 医師、看護師、薬剤師、行政等の多職種連携で、糖尿病重症化予防を考えるフォーラムの開催予定が新型コロナウイルス感染防止のため中止
【浜田江津歯科医師会】	● 浜田圏域糖尿病対策推進会議を通じたの医薬連携。
【島根県薬剤師会 浜田支部】	● 職務にて遂行
【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】	● 減塩・運動・過剰摂取の防止の推進
【浜田市】	● 糖尿病性腎症重症化予防事業の継続実施。糖尿病相談を実施。従事者スキルアップのための研修会の開催。
【江津市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1次予防：地域での健康教室やちらし配布、広報での予防啓発活動、職域保健部会活動（尿中塩分測定と事後フォロー他）</li> <li>● 2次予防：特定健診からハイリスク者（高血圧、脂質異常、糖尿病、CKD）を抽出し、受診勧奨および重症化予防指導の実施 定期受診中断者（高血圧、脂質異常、糖尿病）へのはがきでの受診勧奨</li> <li>● 3次予防：糖尿病患者会への支援活動</li> <li>● その他：生活習慣病対策について医師会等との意見交換会実施</li> </ul>
【全国健康保険協会 島根支部】	● 健診・保健指導の実施、食生活等に関する出前講座の実施、糖尿病性腎症に係わる重症化予防事業のため、かかりつけ医と連携した保健指導の実施
【浜田保健所】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「浜田圏域糖尿病管理のしおり」を令和4年度版に更新し、関係機関へ配布</li> <li>● 他団体主催の研修会の周知、参画</li> </ul>

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 人間ドックの検査内容の中で糖尿病検査も実施し、早期発見に努める。
- 糖尿病治療において、従前の水準にもどるべく力を注いでいく。
- 他科の医師と連携して合併症予防に努める。
- コロナが収束すれば糖尿病教室の再開を検討する。

【済生会江津総合病院】

- 引き続き常勤医の確保が厳しい状況ですが、糖尿病に係わる医療提供体制の維持に努める。
- 糖尿病友の会について継続して開催し、療養指導などに努める。
- フットケア外来についても継続して開催し、足のトラブル予防に努める。

【西部島根医療福祉センター】

- 継続。

【浜田市医師会】

- 令和4年度の取組状況と同様に実施

【江津市医師会】

- 多職種連携の推進

【浜田江津歯科医師会】

- 浜田圏域糖尿病対策推進会議を通じての医薬連携。

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】

- 昨年同様啓発活動の実施

【浜田市】

- 継続実施

【江津市】

- 令和4年度の取組状況同様に実施

【全国健康保険協会 島根支部】

- 健診・保健指導の実施、食生活等に関する出前講座の実施、糖尿病性腎症に係わる重症化予防事業のため、かかりつけ医と連携した保健指導の実施

【浜田保健所】

- 「糖尿病対策検討会」を開催し、関係者の共通認識を醸成し、糖尿病対策を継続して推進する
- 「浜田圏域糖尿病管理のしおり」の活用状況調査の実施
- 他団体主催の研修会の周知、参画

## ⑦精神疾患

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 常勤の精神科医が配置されていないため対応が出来ていない。そのため医師確保に向け大学と協議を行っているが採用には至っていない。

【西川病院】

- 減酒外来の開設。精神医療におけるSDM(Shared Decision Making)の推進。

【済生会江津総合病院】

- ・精神科に係わる常勤医は不在ですが、非常勤医師による週2回の外来診療機能を維持している。

【西部島根医療福祉センター】

- 発達障害等、健診・治療・問題行動に対する研修を実施。相談窓口の設置。

【ケアシステムについて】精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築ワーキングに参加。精神科医療と福祉の連携等について協議している。

【高次脳機能障がいについて】島根県高次脳機能障がい者支援事業の圏域相談支援拠点として各種相談に対応。また圏域内関係機関や多圏域との連携を目的に、年2回のネットワーク会議を開催。当事者と家族のフォローのため、年4回の「家族の集い」を開催。さらに、支援者のための研修会、一般に向けた周知啓発のため、隔年での研修会を実施している。

【浜田市医師会】

- こころの健康づくりネットワーク会議や自死対策連絡会を開催し、市内の関係団体との連携に努めた。

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 職務にて遂行

【浜田市】

- こころの健康づくりネットワーク会議や、浜田市自死対策連絡会を開催し、市内の関係団体との連携に努めた。自死予防週間や自死対策強化月間にあわせて啓発活動を実施。学校への講師派遣を行い若年層対策を実施。

【江津市】

- ・心の健康づくりに関する健康教育や個別相談
  - ・精神科疾患患者のケース対応
  - ・精神疾患患者会の支援
  - ・江津市自死対策、生活困窮者支援、ひきこもり支援対策の三つの合同庁内会議を実施し情報交換をしている。
  - ・自死遺族の会パネル展実施
  - ・ゲートキーパー養成講座の実施

【全国健康保険協会 島根支部】

- メンタルヘルスの出前講座の実施

【浜田保健所】

- ・R3に養成したピアサポーターの連絡会を開催した。
  - ・両市が主催するにも包括ワーキングに参加し、地域全体で精神障がい者を支えていく仕組み作りについての検討を行った。

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

【西川病院】

【済生会江津総合病院】

【西部島根医療福祉センター】

【浜田市医師会】

【島根県薬剤師会 浜田支部】

【浜田市】

【江津市】

【全国健康保険協会 島根支部】

【浜田保健所】

- 常勤の精神科医確保に向け大学と今後も協議を継続していく。
- 精神傷がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け行政との対話を重ねる（自立支援協議会ワーキングへの参加）。精神疾患を有するピアサポーター養成講座の開催に向けた準備。
- ・引き続き非常勤医師による外来診療機能を維持する。
- 【ケアシステムについて】精神疾患を有する人の事例検討を通じた地域課題の把握と支援方法の検討。精神疾患を有する住民への緊急対応フローチャートの周知。  
【高次脳機能障がいについて】年2回のネットワーク会議の開催。当事者と家族フォローのため年4回の「家族の集い」を開催。支援者向けに圏域内での研修会を実施。
- 令和4年度の取組状況と同様に実施
- 昨年と同様
- 継続実施
- ・令和4年度の取組状況同様に実施  
・加えて、2期自死対策総合計画策定
- メンタルヘルスの出前講座の実施
- ・精神保健福祉協議会事務局連絡会の開催  
・治療継続等専門部会の開催  
・ピアサポーター養成



## ⑧救急医療

### 令和4年度取組状況

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 常勤の救命救急医（救急専門医）を中心に第三次救急医療機関として、救急車やドクターヘリの受け入れを積極的に行っている。</li> <li>● 浜田市とメディカルコントロール業務委託を締結し、救急救命士に対し、救急救命処置に関する具体的な指示や救急救命士の育成のため研修受け入れを行っている。</li> </ul>  |
| <p>【西川病院】<br/>【済生会江津総合病院】</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 精神科救急病棟で積極的に精神科救急患者を受け入れた。</li> <li>● 地理的要因や周辺圏域の救急対応能力等を踏まえた上で当院で救急機能を維持することが必要であり、救急告示病院として圏域の救急医療体制の確保に努めている。</li> <li>● 島根大学医学部附属病院から夜間休日救急の医師派遣を受け、当院医師の負担軽減を図り、救急機能維持に努めている。R4年度末に複数医師の退職を受け、救急医療体制が確保できなくなり、浜田医療センターに搬送されるケースが増えている。</li> </ul> |
| <p>【浜田市医師会】</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 休日診療所への協力<br/>浜田市による管理運営施行</li> </ul>  |
| <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】<br/>【浜田市消防本部】</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 職務にて遂行</li> <li>● 島根大学医学部附属病院高度外傷外傷センタードクターカーと協定締結</li> </ul>  |
| <p>【江津邑智消防組合】</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気管挿管認定救命士1名、薬剤認定救命士2名を養成した。管内の救急隊全隊に救急救命士を配置した。症例検討会を行った。救急救命士の再教育を再開した。</li> </ul>  |
| <p>【浜田市】<br/>【浜田保健所】</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 浜田市直営の休日応急診療所を管理運営。</li> <li>● 江津地域における傷病者の搬送及び受入に関する連絡会議を2回実施し、救急医療体制づくりをした。</li> <li>● 江津地域における脳卒中疑患者の搬送及び受入に関する連絡会議を開催し、脳卒中に関する救急体制づくりをした。</li> </ul>   |

## 今後の計画等

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 【国立病院機構 浜田医療センター】 | ●・今後も継続していくが、一次二次救急や感染症などすべての対応を維持していくのは困難（働き方改革等）であるため、今後の体制について検討する必要がある。<br>・救急救命士の育成のため研修の受け入れを行っていく。 |
| 【西川病院】            | ●継続実施。  |
| 【済生会江津総合病院】       | ●引き続き限られた人員の中で救急告示病院として機能維持に努める。  |
| 【浜田市医師会】          | ●令和4年度の実施状況と同様に実施   |
| 【島根県薬剤師会 浜田支部】    | ●昨年と同様  |
| 【江津邑智消防組合】        | ●救急の高度化を目的に医師の指導の下、指導会（シミュレーション）を実施。気管挿管・薬剤認定救命士の養成。症例検討会の実施。   |
| 【浜田市】             | ●継続実施。  |
| 【浜田保健所】           | ●江津地域における傷病者の搬送及び受入に関する連絡会議を継続して開催し、新体制での運用を開始してきての状況確認して、救急医療体制が確保できるように取り組む。                            |

## ⑨災害医療

### 令和4年度取組状況

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 【国立病院機構 浜田医療センター】     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●・DMATを2チーム有しているが、今年度は被災地等への派遣はなかった。</li> <li>・地域災害拠点病院に指定されており、今年度、災害訓練を実施した。(R5.2.8)</li> <li>・沖縄でのコロナ感染拡大時に診療看護師を1名派遣した。(R4.3.31~4.30)</li> <li>・大阪でのコロナ感染拡大時に診療看護師を1名派遣した。(R4.8.1~8.31の間)</li> <li>・東京でのコロナ感染拡大時に内科医師を1名医療臨時施設に派遣した。(R4.8.7~8.13)</li> </ul> |
| 【西川病院】<br>【済生会江津総合病院】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●DPATチームの保有(2チーム)。総合災害訓練の継続実施。</li> <li>●・地域災害拠点病院として災害時の地域の核となるよう、通信環境の整備や備蓄等を行っている。</li> <li>・災害派遣医療チーム(DMAT)が中心となり定期的な訓練を行い、災害時の初動をスムーズに対応できる職員の育成を行い、有事に備えた。</li> <li>・災害派遣医療チーム(DMAT)が2隊となり、全員がスキルアップ・維持を目指し、積極的に研修に参加した。</li> </ul>                        |
| 【浜田市医師会】              | ●災害対策会議への出席   |
| 【江津市医師会】              | ●災害医療対策会議への出席。  |
| 【島根県薬剤師会 浜田支部】        | ●職務にて遂行   |
| 【島根県看護協会 浜田支部】        | ●浜田支部研修会6月、災害医療について実施。参加20人オンライン  |
| 【浜田市】                 | ●国保診療所において災害初動時のアクションカード作成(R1)し、その内容に基づき運用している。参集及び被害状況の確認、停電時の対応等。   |
| 【江津市】                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●・江津市災害対策マニュアルにより救護班での活動</li> <li>・要援護者登録名簿の更新、見直し</li> <li>・一部個別支援計画立案</li> <li>・保健活動部門のアクションカードの見直し</li> </ul>   |

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- DMAT活動の継続。
  - ・災害訓練の結果を検証し、実際の災害時にスムーズに行動できるようマニュアルの見直し等に役立てる。
  - ・DMATの合同訓練の開催があればDMATチームの派遣を検討する。

【西川病院】

- 継続実施。

【済生会江津総合病院】

- 地域災害拠点病院として機能を維持しつつ、地域や関係機関と協力し、災害対応に向けた訓練を実施する。
  - ・DMAT隊員の増員・育成とともに、職員の対応力の維持
  - ・向上を継続的に支援する。
  - ・有事に備え、院内の体制・備品・備蓄の整備を行う。

【浜田市医師会】

- 令和4年度の取組状況と同様に実施

【江津市医師会】

- 各防災関係機関との連携強化

【浜田江津歯科医師会】

- 地域の災害支援のチームの関係の確認と強化

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

【浜田市】

- 継続実施。

【江津市】

- 江津市災害対策マニュアルにより救護班での活動
  - ・要援護者登録名簿の更新、見直し
  - ・一部個別支援計画立案
  - ・保健活動部門活動マニュアル作成の検討



## ⑩地域医療

### 令和4年度取組状況

#### 【国立病院機構 浜田医療センター】

- 研修医の受入数を増やし、研修後の医師確保について取り組んでいる。
- 済生会江津総合病院の整形外科の医師が今年度末で退職となるが、後任がないため江津市より当院の整形外科医の派遣（診療援助）の要請があった。地域の医療を守るために、令和4年度より派遣できるように調整や体制づくりを進めている。
- 令和5年度以降の附属看護学校について存続または廃止かの方向性を示すよう機構本部より指示があり、当院は存続させる方向としているが、機構本部からは承認は受けていない。

#### 【西川病院】

- 島根大学、広島大より学生実習受け入れ、浜田医療センターから研修医の受け入れ。浜田医療センターとの、リエゾン医療体制の継続。

#### 【済生会江津総合病院】

- 圏域における地域医療拠点病院として、地域の医療提供体制を支えるとともに、開業医との連携を強化している。
- 地域医療連携推進法人の設立により、法人内で定期的に意見交換を行う等さらに開業医との連携が進んでいる。
- 江津市内の国民健康保険診療所に当院から週に1度医師を派遣し、地域医療の確保に努めている。
- 地域医療実習の受け入れ施設として、地域医療を担う医師の養成に取り組むこととしている。
- 地元の高校生を対象に実習の受け入れや触れ合う機会を作り、医療系職種に関心を高める取り組みを進めることとしているが、コロナ感染症拡大のため実習受け入れは制限はあったが、実施した。また、将来の医療人材につなげるための医療講習をリモートを活用しなら継続して行った。
- 済生会横浜市東部病院総合診療研修プログラムの連携施設として研修医の受け入れを行った。

#### 【西部島根医療福祉センター】

- へき地への健診事業。
- 地域医療にかかる交流・啓発イベント（夏祭り・学園祭）は規模を縮小し実施。
- 中学・高校・大学・専門学校の学生による医療職実習（体験実習も含む）の受け入れ。

#### 【浜田市医師会】

- 准看護学校の運営

新型コロナワクチンの接種協力

#### 【江津市医師会】

- 江津総合病院江津市内の診療所の双方に籍を置き、両施設で診療にあたる医師の相互交流の推進。

#### 【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 地域のイベント・多職種連携会議への参加、職務にて遂行、学校薬剤師

#### 【島根県薬剤師会 江津・邑智支部】

- 地域包括支援センターや地域医療連携室と連携し地域ケア会

【島根県薬剤師会 江津・邑智支部】

議や事例報告会への参加。

- 江津市健康医療対策課主導の研修会・7名、交流会・11名に地区の代表が参加
- 江津市健康医療対策課と連携して、地区（15地区）から健康推進員を出して、栄養食生活運動など健康管理等の活動をしている

【浜田市】

- 市内の小中学校で地域医療教育を実施。国民健康保険診療所では小中学校見学受入、中高生の医療体験実習を実施。中高生が現役の医師や看護師、医学生・看護学生等と交流ができるよう「医療系学生と話そう」を実施。医学部や医師国家試験合格者に対して合格を祝う会を実施。地域卒学生や地元出身学生に対しては、浜田市の医療の現状を発信。国保診療所においては、島大や鳥大から地域医療実習を受け入れた。また、総合医育成のために、医療センターと「総合診療研修プログラム」及び学会認定の「家庭医療専門研修プログラム」を作成し受け入れ準備はできている。

【江津市】

- 地域医療拠点病院である済生会江津総合病院及び西部島根医療福祉センターの経営の安定化と医師・看護師等の医療従事者の確保に対する取り組みの財政支援を実施
- 地域卒推薦医師との面談による状況確認と今後の見通しについて確認
- 新たな地域卒学生の激励会
- 市内の小中学校で地域医療教育推進事業の活用

【浜田保健所】

- 地域医療実習の実施  
医学生（1～6年生）を対象に、8月と3月に実施
- 島根大学医学科6年地域医療実習生受入れ
- 普通科高校を対象に医療に関する講演会の開催



## 今後の計画

### 【国立病院機構 浜田医療センター】

- 研修医の受入数を増やし、研修後の医師確保について取り組んでいく。
- 済生会江津総合病院に整形外科の派遣を行っている。脳神経外科医を派遣ができる体制作りを進めていく。
- 看護学校の存続のため経営改善に努めていく。

### 【西川病院】

### 【済生会江津総合病院】

- 継続実施。
- 引き続き、地域医療拠点病院として地域での開業医等との連携強化、地域医療の確保に努める。
- 地域医療実習の受け入れによる医師の養成、地元高校生の実習受け入れ、ナースセンター相談等による医療従事者の確保、関心を高める取り組みを進める。
- 済生会横浜市東部病院総合診療研修プログラムの連携施設として引き続き、研修医の受け入れを行う。

### 【西部島根医療福祉センター】

### 【浜田市医師会】

### 【江津市医師会】

### 【浜田江津歯科医師会】

- 感染状況をみながら継続予定。
- 令和4年度の取組状況と同様に実施
- 医師の確保及び養成の推進。
- へき地歯科医療対策を検討が必要。歯科衛生士不足対策が必要と考える。

### 【島根県薬剤師会 浜田支部】

### 【島根県薬剤師会 江津・邑智支部】

### 【江津市連合自治協議会会長】

- 昨年と同様
- 引き続き参加を呼び掛けていく。
- 目的：「健康で安心して暮らせる町」をめざして、R5年度も健康づくり活動は、R4年度と全く同じ様に計画しています。

### 【浜田市】

### 【江津市】

- 継続実施。
- 地域医療拠点病院である済生会江津総合病院及び西部島根医療福祉センターの経営の安定化と医師・看護師等の医療従事者の確保に対する取り組みの財政支援
- 済生会江津総合病院の今後のあり方について検討
- 地域枠推薦医師との面談による状況確認と今後の見通しについて確認し方針を共有する
- 新たな地域枠学生の激励会
- 地域枠医師及び学生、地域の医師等との交流会の実施

### 【浜田保健所】

- 島根大学の夏季・春季地域医療実習の受け入れ
- 市と実習生が接点を持つことを目的とし、両市と合同で実習生との親睦会を開催する
- 医療に関する講演会について検討の年とし、市と連携して今後の講演会のあり方を検討する



## ⑪周産期医療

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 年々出産数は減少しているが、十分な数の出産に対応できるよう医師確保に取り組んでいる。
- ・助産師による保健指導の一環として、妊娠時期に応じた体調管理や出産・育児に向けた相談に応じるなど個別のサポートを行っている。

【済生会江津総合病院】

- 常勤の産婦人科医2名体制により、この地域に欠かすことのできない周産期の機能を維持している。
- ・産後質問票を活用し、ハイリスク者には市と連携した支援を行っている。
- ・母親教室、子育て相談・助産外来を活用し、母乳ケア、生活の相談、育児の相談など妊娠中から支援している。

【島根県薬剤師会 浜田市】

- 職務にて遂行

【江津邑智消防組合】

- 周産期に関する勉強会を医師の指導の下に実施した。

【浜田市】

- 保健所を中心とした周産期医療ネットワーク連絡会を中心に浜田医療センター、助産院などと連携強化。

【江津市】

- 妊婦から出産後の母子に対して家庭訪問や健診等の母子保健活動を実施
  - ・済生会江津総合病院の医師、助産師との連絡会を実施し妊産婦のフォロー活動実施。
  - ・産後ケア院の支援

【浜田保健所】

- 周産期看護連絡会を開催し、妊娠期から産後までのフォロー体制や連携方法について確認・検討を行った。

### 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 引き続き今後の周産期医療需要に応じた体制を検討していく。
- ・助産師による保健指導の一環として、妊娠時期に応じた体調管理や出産・育児に向けた相談に応じるなど個別のサポートを行う。

【済生会江津総合病院】

- 周産期機能維持に努め、若者・子育て世代が住みやすい環境を医療面から支援する。
- ・引き続き産後質問票の活用、市と連携した支援を行う。
- ・母親教室、子育て相談、助産外来の活用により妊娠中からのケアを引き続き行う。
- ・令和5年6月から産婦人科医1名体制になり、分娩の中止となる。そのため、浜田医療センターにおいて分娩することとなり、周産期医療の連携体制が求められている。外来患者は継続してフォローする。(32～34週の妊婦)

【島根県薬剤師会 浜田市】

- 昨年と同様

【浜田市】

- 継続実施。

【江津市】

- 妊婦から出産後の母子に対して家庭訪問や健診等の母子保

健活動を実施

- ・ 済生会江津総合病院の医師、助産師との連絡会を実施し妊産婦のフォロー活動実施。
- ・ 産後ケア院の支援

【浜田保健所】

- 周産期看護連絡会を開催し、妊婦健診やお産がスムーズに行えるよう医療機関連携の体制整備を引き続き図る。



## ⑫小児救急を含む小児医療

令和4年度取組状況	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【西部島根医療福祉センター】</p> <p>【浜田市医師会】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【浜田市】</p> <p>【江津市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●・小児医療が継続できるように医師確保の取り組みを行っている。</li> <li>・周産期と同様に小児医療需要に応じた体制を検討していく。</li> <li>●R3. 7月から常勤の小児科医師を確保することが出来、常勤医での外来診療・小児救急受入の体制が整いました。</li> <li>●発達障害・乳児股関節健診などによる早期発見、早期治療。</li> <li>●休日診療所への協力</li> <li>●職務にて遂行</li> <li>●浜田市直営の休日応急診療所を管理運営。</li> <li>●済生会江津総合病院及び西部島根医療福祉センターでの小児科医師の確保について両医療機関と連携しながら支援を実施</li> <li>●医療的ケア児の速やかな緊急時対応のために、消防署へ随時情報提供を実施。</li> <li>●「子ども医療電話相談（＃8000）事業」の周知。</li> </ul>
今後の計画等	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【西部島根医療福祉センター】</p> <p>【浜田市医師会】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【浜田市】</p> <p>【江津市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●・浜田市と病児保育について協議していく。</li> <li>・周産期と同様に小児医療需要に応じた体制を検討していく。</li> <li>●子育て世代の暮らしを支えるために引き続き、小児救急を含む小児医療の提供に努める。</li> <li>●発達障害など障がい児の健診・診察は担当地区を拡大し実施し、早期発見・早期治療をめざす。</li> <li>●令和4年度の実施状況と同様に実施</li> <li>●昨年と同様</li> <li>●継続実施。</li> <li>●済生会江津総合病院及び西部島根医療福祉センターでの小児科医師の確保について両医療機関と連携しながら支援を実施</li> <li>●医療的ケア児の速やかな緊急時対応のために、随時消防署へ情報提供を行う。</li> <li>●「子ども医療電話相談（＃8000）事業」の周知。</li> </ul>





## ⑬在宅医療

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 入院支援センターを拡充し、専任看護師長を配置しており、スムーズな退院支援を行い、在宅医療への移行を進めている。

- ・浜田圏域外の施設も含め地域連携が強化されるよう、様々な会合に積極的に参加するようにしている。

【西川病院】

- 訪問診察チーム（包括的地域地域生活支援プログラム）の活動。入院患者に対する退院前訪問等の積極的な介入。

【済生会江津総合病院】

- 江津市から「在宅医療・介護連携支援センター」を受託し、関係機関からの相談等に対応している。

- ・令和4年度から地域医療連携推進法人江津メディカルネットワークの取組として、「医療連携推進コーディネーター事業」を実施し、病院内にコーディネーターを配置し在宅医療の提供体制の維持・拡大に取り組んでいる。

- ・多職種連携による意見交換会を実施し、医療から介護までの連携を進めている。

- ・薬剤師との意見交換会を行い、在宅療養における薬剤師との更なる連携に努めている。

- ・R3.5月から江津市地域包括支援センターが院内に移転され、医療・介護・福祉の各サービスをワンストップで提供することが可能となった。

- ・24時間体制確保による医師の負担軽減を目的に「看取り代診医紹介システム」「在宅医紹介システム」「在宅訪問薬剤師紹介システム」の3つのシステムを運用開始した。それにより看取り推進、在宅医療が必要となった方への速やかな在宅医の確保に繋がっている。

- ・在宅療養支援のため、外来看護師・病棟看護師・認定看護師の在宅訪問の体制見直し・整備を行った。

- ・ICTを活用した在宅支援の実践に努めた。

【浜田市医師会】

- 浜田市多職種勉強会への出席

【江津市医師会】

- 江津市医師会在宅連携推進コーディネーター事業の推進

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 多職種会議に参加、職務にて遂行

【訪問看護ステーション】

- 浜田市訪問看護ステーション支援事業補助金活用による条件不利地域への訪問介護の提供

- ・多職種連携勉強会や地域ケア会議への参加

【江津ケアマネジャー部会】

- 多職種連携会議へ参加し、顔の見える関係作りに努める。

【浜田市】

- 多職種勉強会を実施。医療・介護連携シートを活用。国民健康保険診療所において、へき地の在宅医療を提供

【江津市】

- 江津市地域包括支援センターを済生会江津総合病院内に移転し病院と在宅医療、介護との連携を強化した。

- ・入退院支援マニュアル（江津市版）の活用を行い連携強化を図る。

- ・医療・介護連携シートの活用を推進する。

- ・多職種連携による研修会の実施

- ・介護予防手帳を活用した自己健康管理と社会参加を促しフレイル予防を実施

【浜田保健所】

- 浜田市医師会と訪問看護ステーション（浜田市内）との意見交換会を実施

### 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- ・さらに地域との関係を含め、入退院支援を拡大し、在宅医療への地域との連携を深めていく。
- ・今後も、浜田圏域外の施設も含め地域連携が強化されるよう、積極的にいろいろな会合等に参加していく。

【西川病院】

【済生会江津総合病院】

- 継続実施
- ・「在宅医療・介護連携支援センター」と「医療連携推進コーディネーター事業」について引き続き受託し、在宅医療の支援に努める。
- ・引き続き、在宅医療体制の充実に向けた取り組みを行う。
- ・入院前支援体制の整備を行い、支援の強化を図る。
- ・外来看護師、認定看護師の在宅訪問の実施増加を目指す。

【浜田市医師会】

- 多職種勉強会への出席  
在宅医療提供を図る。

【江津市医師会】

- 在宅医療提供体制の推進

【浜田江津歯科医師会】

- 地域で歯科衛生士が活動する人材作りと仕組み作りを検討

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

【訪問看護ステーション】

- ・浜田市訪問介護ステーション支援事業補助金活用による条件不利地域への訪問看護の提供
- ・多職種連携勉強会や地域ケア会議への参加

【江津ケアマネジャー部会】

- 入退院支援マニュアルや連携シートを用いて、患者及び家族の困り感添えるようさらなる連携強化を図る。

【浜田市】

- 継続実施

【江津市】

- 令和4年度の取組状況と同様に実施

【浜田保健所】

- 浜田医師会と訪問看護ステーション（浜田市内）との意見交換会の継続

- 浜田医療センター及び済生会江津総合病院の地域連携室の連絡会への参画に向け調整する。



## ⑭緩和ケア及び人生の最終段階における医療

令和4年度取組状況	
【国立病院機構 浜田医療センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ・がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画における「緩和ケア研修」を主催開催した。</li> <li>・アドバンス・ケア・プランニングの運用計画に向け検討を進めている。</li> </ul>
【済生会江津総合病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>意思決定支援チームを作り、組織全体で緩和ケアを含める意思決定の支援体制を整えている。</u></li> </ul>
【島根県薬剤師会 浜田支部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多職種連携会議・研修への参加、職務にて遂行</li> </ul>
【訪問看護ステーション】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多職種連携勉強会への参加を通し、アドバンスケアプランニングについての学びを深める。</li> </ul>
【江津ケアマネジャー部会】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>いきいき手帳かわたしの未来ノートをどのように周知し活用していくか、模索</u></li> </ul>
【浜田市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国民健康保険診療所において、へき地での看取りを支援。アドバンスケアプランニングの取組を実施</li> </ul>
【江津市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ・わたしの未来ノートの普及啓発活動を実施</li> <li>・意思決定支援に関する学習会の実施</li> </ul>
【浜田保健所】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多職種連携勉強会、地域ケア会議の参加をとおり、圏域の現状を把握。</li> </ul>
今後の計画等	
【国立病院機構 浜田医療センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後も引き続き研修会や市民公開講座の開催等で情報発信をしていく。</li> </ul>
【済生会江津総合病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 意思決定支援チームを作り、組織全体で緩和ケアを含める意思決定の支援体制の充実に取り組む。</li> </ul>
【島根県薬剤師会 浜田支部】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年と同様</li> </ul>
【訪問看護ステーション】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>医師会や行政との連携を図り、地域におけるアドバンスケアプランニングの普及活動</u></li> </ul>
【浜田市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 継続実施</li> </ul>
【江津市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和4年度取組状況と同様</li> </ul>
【浜田保健所】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会議等で緩和ケアについて、圏域の現状と方向性について検討する。</li> </ul>



## ⑮ 医薬分業

令和4年度取組状況	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【浜田市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険薬局と病院薬剤部との連携会議を隔月開催し、情報共有とトラブル回避に努めている。また、患者のシームレスな在宅移行を目指し、在宅支援薬剤師研修会を開催し院内薬剤師講師による注射調製の実技型研修を行っている。</li> <li>●当院では、90%以上が院外処方を行っており、<b>かかりつけの薬剤師・薬局を持つメリットやお薬手帳の有効活用について啓発</b>に努めている。</li> <li>●<b>多職種会議への参加</b>、職務にて遂行</li> <li>●休日応急診療所、国保診療所において院外処方を推進。</li> <li>●薬局への監視等により、適切に処方せんの応需ができる体制が整備されているか確認を行っている。</li> </ul>
今後の計画等	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【浜田市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険薬局と病院薬剤部との連携会議を隔月開催し、情報共有とトラブル回避に努めていく。また、患者のシームレスな在宅移行を目指し、在宅支援薬剤師研修会を開催し院内薬剤師講師による注射調製の実技型研修を行っていく。</li> <li>●令和5年4月より常勤薬剤師が2名体制となるため、更なる積極的な院外処方への意向を進めるとともに、薬剤師確保に努める。</li> <li>●昨年と同様</li> <li>●継続実施。</li> <li>●かかりつけ薬剤師・薬局の普及・啓発に取り組む。</li> <li>●薬局への監視等により、適切に処方せんの応需ができる体制が整備されているか確認を行う。</li> </ul>



## ⑩ 医薬品等の安全確保

令和4年度取組状況	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【浜田市医師会】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【江津市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手術室の麻薬、劇物管理に毎日薬剤師が関わる体制としている。地域医療従事者研修会、院内及び院外研修会において、<u>麻薬教育認定薬剤師による麻薬の適正使用や薬物乱用防止についての教育及び啓発を行っている。</u></li> <li>●毒物・劇物の適正な保管・管理、危害防止対策の徹底に努めている。</li> <li>●医薬分業では薬局との協力を図る</li> <li>●職務にて遂行</li> <li>●・多剤服用者に対して個別に書面による注意喚起（国保及び後期高齢者医療制度より） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議への薬剤師の参加により服薬指導の助言をもらっている</li> </ul> </li> <li>●薬局等へ立入を行い、法令等に基づいた医薬品等の安全確保について監視指導を行っている。</li> </ul>
今後の計画等	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【浜田市医師会】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【江津市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手術室の麻薬、劇物管理に毎日薬剤師が関わる体制としている。地域医療従事者研修会、院内及び院外研修会において、麻薬教育認定薬剤師による麻薬の適正使用や薬物乱用防止についての教育及び啓発を行っていく。</li> <li>●引き続き毒物・劇物の適正な保管・管理、危害防止対策の徹底に努める。</li> <li>●できる限り医薬品の安定供給が必要</li> <li>●昨年と同様</li> <li>●・令和4年度の実績と同様 <ul style="list-style-type: none"> <li>・加えて、<u>薬剤師による正しい薬の飲み方について地域で講演活動の実施</u></li> </ul> </li> <li>●薬局等へ立入を行い、法令等に基づいた医薬品等の安全確保について監視指導を行う</li> </ul>





## ⑰臓器等移植

令和4年度取組状況	
【済生会江津総合病院】	● 県内の移植実施病院と連携して、臓器移植などの情報共有を行っている。
【浜田市】	● 献血時に、骨髄ドナーバンク登録会を実施。また、骨髄バンクドナー支援事業を実施。
【江津市】	● ・ 江津市役所等での献血時に、らいらっくの会や桜江ライオンズクラブによる骨髄バンクドナー登録会の実施 ・ 成人式において新成人に対して移植医療の普及啓発パンフレットの配布・ドナーに対しての療養費の助成制度
【浜田保健所】	● ・ 骨髄ドナー登録の実施 ・ 臓器等移植のパンフレットの掲示、配布 ・ 献眼発生時の感謝状の贈呈
今後の計画等	
【済生会江津総合病院】	● 引き続き、県内の移植実施病院と連携して、臓器移植等の情報共有を行う。
【浜田市】	● 継続実施
【江津市】	● 令和4年度の実施状況と同様
【浜田保健所】	● 継続実施



## ⑱健康長寿しまねの推進

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】

【済生会江津総合病院】

- 医療関係分野については積極的に参加している。
- ・疾病の早期発見のために、脳ドック、がん検診等を行い、身近な所で健診を受けやすくする体制に努めている。
- ・健康寿命の延伸の為に心疾患患者の分析等を行い、健康づくり部門と連携した取組を進めている。活動支援事業や出前講座へ参画する等の取り組みを行っている。
- ・江津市地域リハビリテーション活動事業への支援として、下記の取り組みを行っている。
  - ▼出前講座（Lets江津体操指導） 2件
  - ▼「地域の通い場」立ち上げ支援 1件
  - ▼地域ケア会議アドバイザー参加 3件
  - ▼在宅療養・介護に係わる訪問指導 17件
- ・また、心臓リハビリ提供体制強化への取り組みも行っていきます。
  - ▼医師会を始めケアマネージャーとの連携構築活動 3件
  - ・認定看護師による地域のコミュニティへの健康相談 1件
  - ・認定看護師によるケアマネ対象研修 2件
  - ・市民、在宅系施設への教育活動（公開講座6件、出前講座14件）

【西部島根医療福祉センター】

【浜田市医師会】

【江津市医師会】

【浜田江津歯科医師会】

【島根県薬剤師会 浜田支部】

【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】

- ・健診事業の取り組み
- ・特定保険指導の取り組み
- 関係団体との連携
- 産業医が事業所の従業員のメンタルヘルス対策を支援する
- 学校における歯科保健指導、フッ化物推進、妊婦検診の実施
- 会議への参加、職務にて遂行
- 部会を設置し、それぞれの分野において、健康づくりのための啓発活動を実施した。
- プラス1事業のも取り組む。

【江津市連合自治協議会会長】

- ・健康ウォーキング・・・実施
- ・グランドゴルフ大会・・・コロナで中止
- ・健康教室（適塩教室）・・・コロナで中止
- ・男性料理教室・・・コロナで中止

【浜田市】

- しまね健康寿命延伸プロジェクト、はまだ健活事業所応援プロジェクト、はまだ健康チャレンジ事業の継続実施。浜田市食育推進ネットワーク会議で関係団体と連携した食育推進と生活習慣病予防対策を実施。

【江津市】

- ・各部会での取り組み
- ・健康づくりグループ表彰への推薦
- ・各地区健康づくり推進会でプラスワンの冊子を配布し活用促進。

【浜田保健所】

- ・浜田圏域健康長寿しまね推進会議の開催
- ・健康づくり活動表彰の実施

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

【済生会江津総合病院】

- 医療関係分野については積極的に協力していく。
- ・引き続き健診を受けやすくする体制づくりを江津市と連携して取り組みを行う。
- ・生活習慣病等の重症化予防のために江津市と連携して取り組みを進める。
- ・引き続き江津市地域リハビリテーション活動事業について支援を行う。
- ・心臓リハビリテーションについて、地域での提供体制強化に向け、院内関係職種とも連携して取り組み。

【西部島根医療福祉センター】

【浜田市医師会】

【江津市医師会】

【浜田江津歯科医師会】

【島根県薬剤師会 浜田支部】

【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】

【浜田市】

【江津市】

【浜田保健所】

- 継続
- 令和4年度の取組状況と同様に実施
- 職域での健康増進の推進
- 学校における歯科保健指導、フッ化物推進、妊婦検診の実施
- 昨年と同様
- 部会を中心に健康づくり活動のための啓発活動を実施する
- 継続実施
- 令和4年度の取組状況と同様
- ・浜田圏域健康長寿しまね推進会議の開催
- 健康づくり活動表彰の実施

## ⑱ 健やか親子しまねの推進

令和4年度取組状況	
【国立病院機構 浜田医療センター】	●地域の周産期医療に全力で対応している。
【済生会江津総合病院】	●産婦人科を維持し、江津市民が身近な地域で出産が出来る体制を整えている。 ●助産師外来にて子育て相談を実施した。
【西部島根医療福祉センター】	●発達障害・乳児股関節健診・発達クリニック等の実施による早期発見・早期治療。 医療的ケア児の通学・社会活動の援助・助言。家族や支援スタッフ対象の研修会の実施。各関係機関と連携した支援体制づくり。医療的ケア児支援センターとの連携によるケース対応。 重症心身障がい児について、相談支援事業による障害福祉サービスの利用調整や関係機関等とのサービス担当者会議の開催。
【島根県薬剤師会 浜田支部】	●会議への参加、職務にて遂行
【浜田市】	●浜田圏域健やか親子しまね計画推進のため、妊娠期、出産、育児の切れ目ない支援のじっしのための子育て世代包括支援センター事業を実施。
【江津市】	●子育て関係機関と連携を図り、子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない支援を実施。 ●江津市子ども家庭総合支援拠点を子育て支援課内に置き、専属の支援員を配置して更に要保護児童等への支援を実施。
【浜田保健所】	●児童相談所保健師とともに浜田市・江津市へのヒアリングを実施して、母子保健事業全般に係る意見交換を実施。また、県央保健所、浜田児童相談所とともに母子保健に係る意見交換を実施。 ●長期療養児支援事業として、長期療養児への定期訪問、ケア会議参加等を行い、浜田市の医療的ケア児支援連絡会へ参加。 ●新生児聴覚検査体制の整備について、浜田ろう学校との協議、島根県新生児聴覚検査連絡協議会への参加、浜田ろう学校、島根県西部3保健所による連絡会を開催。

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

【済生会江津総合病院】

【西部島根医療福祉センター】

【島根県薬剤師会 浜田支部】

【浜田市】

【江津市】

【浜田保健所】

- 今後の周産期医療需要に応じた体制を検討していく。
- 江津市民が身近な地域で出産、子育てができる体制を整える。
- 発達障害など障がい児の健診・診察を実施し、早期発見・早期治療をめざす。医療的ケア児については、医療的ケア児支援センターとの連携を強化し、県西部地域における支援体制を明確化する。その他の活動については継続。
- 昨年と同様
- 継続実施
- 令和4年度の取組状況と同様
- 母子保健推進協議会を開催し、健やか親子しまね計画に基づく評価を行う。
- 母子保健担当者連絡会を開催し、母子保健に係る課題の共有や取組の方向性について検討する。
- 令和5年度は乳幼児心体発育調査が実施されるため、市町村支援を行う。
- 引き続き、長期療養児への訪問やケア会議等へ参加し、市の医療的ケア児支援連絡会へ参加する。
- 長期療養児支援として相互交流事業の圏域でのニーズ調査を行う。



## ⑳高齢者の疾病予防・介護予防対策

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】	●当院で地域住民を対象とした医療フェスタや市民公開講座を実施しており啓発に取り組んでいるが、前年度に引き続き今年度も新型コロナの影響で各イベントの開催ができなかった。
【西川病院】	●認知症疾患医療センター職員が、認知症カフェへの定期訪問を実施。認知症予防のための勉強会や、講師派遣を行った。
【済生会江津総合病院】	●・高齢者の自立支援、介護予防等を図るため、江津市地域ケア会議に参加し、ケアマネ、保健師など多職種による支援を図っている。 ・行政保健師と連携し、「いき生き手帳」を高齢者に配布した。(R4 10月現在約3,000冊) ・ケアマネを対象に活用度の調査を実施した。
【西部島根医療福祉センター】	●地域リハビリテーション事業・江津市通所型短期集中予防サービス事業の実施。
【浜田市医師会】	●高齢者健診の実施
【浜田江津歯科医師会】	●LEDO歯科検診の実施
【島根県薬剤師会 浜田支部】	●多職種連携会議・研修への参加、職務にて遂行
【訪問看護ステーション】	●地域ケア会議への参加
【浜田圏域老人施設協議会】	●浜田市・江津市地域包括口腔ケア会議に参加。 コロナ禍における高齢者保健事業や施設の口腔衛生管理等への影響、課題について情報共有と意見交換会を実施。
【江津ケアマネージャー部会】	●地域ケア会議、多職種連携会議、ケアマネ部会、その他研修へ参加。疾病理解と多職種連携に取り組む
【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】	●100才体操の推進、低栄養、フレイル、ロコモ、認知症予防の推進と社会参加の必要性の啓発
【浜田市】	●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施でフレイル予防の普及啓発、低栄養予防のハイリスクアプローチを実施。 出前講座を通じた介護予防や百歳体操の普及活動を実施。また、介護予防普及啓発事業を委託し、介護予防コーディネーターが介護予防普及啓発に努めた。
【江津市】	●・高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業の実施 ハイリスク：低栄養予防、口腔機能向上を中心に個別指導を実施 ポピュレーション：百歳体操実施サロンでのアンケートと介護予防啓発活動、地区4ブロックでの介護予防教室の実施(運動、栄養、心)、いきいき健康づくりチャレンジ実施 ・介護予防手帳の活用推進と介護予防ポイント付与
【浜田地区広域行政組合】	●定期的に開催する浜田市と江津市との圏域会議を通じて取組の情報共有を図っている
【浜田保健所】	●浜田市・江津市地域包括口腔ケア会議に参加。 ●江津市の通いの場で、口腔機能の維持に関するミニ講話を実

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 今後、コロナが収束すれば、医療フェスタや市民公開講座を再開させていく。

【西川病院】

- 継続実施

【済生会江津総合病院】

- 高齢者の自立支援、介護予防等を図るため、江津市地域ケア会議に参加し、ケアマネ、保健師など多職種による支援を図る。
- ・ 調査した結果、活用度が低かったため、更に「いきいき手帳」の活用を広げる。
- ・ 外来での療養指導の継続及び強化を図る。

【西部島根医療福祉センター】

- 継続

【浜田市医師会】

- 高齢者健診の実施、多職種との連携

【浜田江津歯科医師会】

- LEDO歯科検診の実施

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

【訪問看護ステーション】

- 地域ケア会議への参加

【島根県看護協会 浜田支部】

- まちの保健室 パンフレットにて生活指導予定  
(日時未定)

【浜田圏域老人施設協議会】

- 会議への参加による情報共有

【浜田圏域健康長寿しまね推進会議】

- 4年度事業に引き続き、増加する高齢者がいきいきと過ごせる事に向けての啓発

【浜田市】

- 継続実施

【江津市】

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業を更に進めていく。

ハイリスク：低栄養、口腔機能

健康不明者へのアプローチ

ポピュレーション：男性の集まりへのアプローチ

薬の飲み方の研修会実施

いきいき健康づくりチャレンジ継続

- ・ 介護予防手帳活用の改善検討

【浜田地区広域行政組合】

- 引き続き百歳体操、サロン活動を中心とした通いの場の拡大を促し介護予防の普及啓発を関係市と連携し推進していく

【浜田保健所】

- 健康長寿しまね推進事業と連携し、フレイル予防に取組。



## ②1 難病等保健・医療・福祉対策

令和4年度取組状況	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【浜田市】</p> <p>【江津市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 難病医療協力病院として診療が維持できるよう医師確保などに取り組んでいる。</li> <li>● 「在宅重症難病患者一時入院支援事業」について、圏域でレスパイト入院を受け入れることのできる病院として指定を受けており、必要に応じて利用可能な体制を整えている。</li> <li>● 職務にて遂行</li> <li>● 保健所主催の非常用電源確保対策としての研修に参加</li> <li>● 医療的ケアが必要な難病患者の災害時要援護者登録への勧奨</li> <li>● 特定疾患医療費助成申請、難病指定医・指定医療機関の申請。難病患者の個別訪問・相談。難病患者サロンの開催。</li> </ul>
今後の計画等	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【西部島根医療福祉センター】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【江津市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 難病医療協力病院として診療が維持できるよう医師確保などに取り組んでいく。</li> <li>● 引き続き、在宅重症難病患者一時入院支援事業に係わる受け入れ病院として、利用しやすい体制づくりに努める。</li> <li>● 障がいのある方（特に成人）の二次障害の予防・早期発見</li> <li>● 昨年と同様</li> <li>● 令和4年度の取組状況と同様</li> <li>● 特定疾患医療費助成申請、難病指定医・指定医療機関の申請。難病患者の個別訪問・相談。難病患者サロンの開催。難病フォーラムの開催。難病ネットワーク会議の開催。</li> </ul>



## ②感染症保健・医療対策

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】

- 第二種感染症指定医療機関として、**感染症病床を4床確保している。**
- **新型コロナウイルス即応病床として38床を確保した。**
- 新型コロナウイルス感染症の入院等の必要性を判断するメディカルチェックを行った。
- 浜田市の新型コロナウイルスの予防接種に協力した。

【西川病院】

- COVIT19患者の入院受け入れ、及びワクチン接種。

【済生会江津総合病院】

- 二類等感染症患者の適切な医療を確保するため、保健所や第二種感染症指定医療機関である浜田医療センターとも連携をとりながら圏域内での関係機関の情報共有を図っている。
- 感染管理認定看護師を活用し、介護福祉施設への感染対策支援を行った。

【西部島根医療福祉センター】

- 新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養にかかるスタッフ派遣（必要時）

【浜田市医師会】

- 予防接種事業への協力

【江津市医師会】

- 江津市と共催して、医療関係者が、予防接種を理解して、より安全に予防接種ができるよう研修会を開催。

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 会議への参加、職務にて遂行、学校薬剤師

【訪問看護ステーション】

- 新型コロナウイルス感染症在宅療養者への対応
  - ・保健所との情報共有、意見交換
  - ・事業継続計画の策定

【浜田圏域老人施設協議会】

- 圏域内での新型コロナウイルス感染症発生時、連絡を受け必要物資の提供を行う

【公益財団法人島根県環境保健公社】

- 浜田市及び江津市より委託いただいた住民結核検診の実施

【浜田市】

- 肝炎ウイルス検診やその後のフォローアップ事業を実施。予防接種事業を実施。インフルエンザ、ノロウイルス等、予防啓発に努めた。新型コロナウイルス感染症予防の普及啓発に努めた。

【江津市】

- 新型コロナウイルス感染症の対応
  - ・結核検診
  - ・各種予防接種の実施
  - ・夏季、冬季の食中毒に関する警報および啓発活動
  - ・肝炎ウイルス検診とフォローアップ事業の実施
  - ・新型コロナウイルス感染対策に関する保健師派遣の協定を締結し保健所への支援を行う。
  - ・コロナワクチン接種事業の推進

【浜田保健所】

- 積極的疫学調査、関係機関との調整、普及啓発、医療用物資の調整

## 今後の計画等

### 【国立病院機構 浜田医療センター】

- 第二種感染症指定医療機関として、感染症病床を4床確保。
- 今後の新型コロナウイルス感染拡大時には島根県からの要請に対応。
- 新型コロナウイルス感染者の入院等の必要性を判断するメディカルチェックを必要に応じて実施の判断をする。
- 浜田市の新型コロナウイルスの予防接種には必要に応じ実施の判断をする。

### 【済生会江津総合病院】

- 引き続き、保健所や浜田医療センター、医師会等関係機関と連携を取りながら情報共有を図る。
- 病勢と連携し、入所系介護施設を対象に感染のBCP策定を目指す。

### 【西部島根医療福祉センター】

- ワクチン接種等の実施。

### 【浜田市医師会】

- 予防接種事業への協力、コロナワクチンへの対応

### 【江津市医師会】

- 予防接種に対する正しい知識の普及を図る

### 【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

### 【訪問看護ステーション】

- 感染症対応に対する支部内での連携検討

### 【浜田圏域老人施設協議会】

- 感染症対策研修会の実施
  - ・ 感染症対策に必要な物資（PPE等）の確保

### 【公益財団法人島根県環境保健公社】

- 引き続き各市と連携し、結核検診の受診率向上に努める。

### 【浜田市】

- 継続実施

### 【江津市】

- 令和4年度の実施状況と同様

### 【浜田保健所】

- 継続実施



## ②③食品の安全確保対策

令和4年度取組状況	
【国立病院機構 浜田医療センター】	●給食委託業者が従業員に対し毎月食品安全衛生にかかる勉強会を行い、食中毒や異物混入等の防止に努めている。
【済生会江津総合病院】	●院内における食品の衛生管理を徹底し、食中毒や異物混入等の防止に努めている。
【公益財団法人島根県環境保健公社】	●食品衛生法第31条に基づく登録検査機関として、食品検査を実施。「HACCPによる衛生管理」においては、各地でHACCPに関わる研修会を開催。また個別相談に対して助言や衛生管理アドバイザーを派遣した。
【島根県食品衛生協会浜田支所】	●コロナで実施できず、園児の手洗い指導活動
【江津市】	●災害時避難所での食物アレルギーに対するチェックとちらしでの啓発
【浜田保健所】	●施設への監視・指導、検査体制の整備、様々な媒体を使用した啓発
今後の計画等	
【国立病院機構 浜田医療センター】	●給食委託業者が従業員に対し毎月食品安全衛生にかかる勉強会を行っていく。
【済生会江津総合病院】	●引き続き、院内における食品の衛生管理、または安全確保に努める。
【公益財団法人島根県環境保健公社】	●引き続き食品の安全確保に努める。
【島根県食品衛生協会浜田支所】	●市内、幼稚園・保育所に対し、園児を対象に手洗いの啓発活動を実施予定
【江津市】	●令和4年度の取組状況と同様
【浜田保健所】	●施設の監視件数を増加させる





## ②4 健康危機管理体制の構築

令和4年度取組状況	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【浜田市医師会】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【浜田市】</p> <p>【江津市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ重点医療機関として4南病棟をコロナ専用病床として運用した。(R2.8.28からR5.3.31まで)</li> <li>● 地域の中核病院として、発熱外来の運用及びコロナウイルス陽性者の受け入れを行った。</li> <li>● 関係機関との連携</li> <li>● 職務にて遂行</li> <li>● 県の災害に関する研修会に参加。<u>新型コロナウイルス感染症に対応した福祉避難所の体制づくり、拡大防止のための基本的な感染症対策の普及。</u></li> <li>● <u>新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営に関する学置会に参加したり、必要備品等の準備や地区での避難訓練に参加</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ感染者用の避難所の設営準備</li> <li>・ 巣ごもり者に対しての買い物支援事業の実施</li> </ul> </li> <li>● 新型コロナウイルス感染症対策においては、市町村及び関係機関と緊密な連携のもとに対応した。</li> </ul>
今後の計画等	
<p>【国立病院機構 浜田医療センター】</p> <p>【済生会江津総合病院】</p> <p>【浜田市医師会】</p> <p>【島根県薬剤師会 浜田支部】</p> <p>【江津市】</p> <p>【浜田保健所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● R5.4.1から4南病棟をコロナ専用から通常運用に戻す。今後は島根県からの病床確保要請の状況により運用を検討する。</li> <li>● 引き続き、保健所等と連携し、患者発生時の適切な対応を図る。</li> <li>● 関係機関との連携</li> <li>● 昨年と同様</li> <li>● 災害マニュアルにより防災担当課と協力しながら対応</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症以外の健康危機管理についても、体制整備を行う。</li> </ul>



## ②保健医療従事者の確保及び医療・保健・福祉情報システムの構築

### 令和4年度取組状況

【国立病院機構 浜田医療センター】	●ホームページや広報誌により当院の状況を広く情報発信している。
【西川病院】	●ホームページを通じた情報発信や、地域での交流イベント（映画上映会等）を開催。
【済生会江津総合病院】	●「地域医療連携推進法人」を設立し、医師が当院・診療所の双方に在籍し、診療する仕組みを作る等、医師確保を図っている。 ・また医療従事者の負担軽減のため「医師・看護職員等負担軽減計画」を定め、医師クラークの配置等、負担軽減に繋がる取り組みを進めている。 ・心不全療養指導士、心臓血管リハビリテーション指導士の育成支援に取り組んでいる。
【浜田市医師会】	●准看護師の養成 多職種との連携
【島根県薬剤師会 浜田支部】	●会議への参加、職務にて遂行
【訪問看護ステーション】	●訪問看護師養成講座実習や訪問看護出向事業研修の受け入れ ・浜田医療センター附属看護学校（在宅看護論）実習受け入れ ・新卒看護師養成プログラムを活用した、新卒看護師の採用
【浜田市】	●市内の小中学校で地域医療教育を実施。国民健康保険診療所では小中学校見学受入、中高生の医療体験実習を実施。中高生が現役の医師や看護師、医学生・看護学生等と交流ができるよう「医療系学生と話そう」を実施。医学部や医師国家試験合格者に対して合格を祝う会を実施。地域枠学生や地元出身学生に対しては、浜田市の医療の現状を発信。国保診療所においては、島大や鳥大から地域医療実習を受け入れた。また、総合医育成のために、医療センターと「総合診療研修プログラム」及び学会認定の「家庭医療専門研修プログラム」を作成し受け入れ準備はできている。
【江津市】	●地域医療拠点病院である済生会江津総合病院及び西部島根医療福祉センターの経営の安定化と医師・看護師等の医療従事者の確保に対する取り組みの財政支援を実施 ・地域枠推薦医師との面談による状況確認と今後の見通しについて確認 ・新たな地域枠学生の激励会 ・市内の小中学校で地域医療教育推進事業の活用 ・看護学生修学資金制度

## 今後の計画等

【国立病院機構 浜田医療センター】

- ホームページや広報誌により当院の状況を広く情報発信していく。

【西川病院】

- 継続実施

【済生会江津総合病院】

- ・地域医療連携推進法人の取り組みにより医師確保を進め、併せて負担軽減計画の実行により医療従事者の負担軽減にも努める。
- ・引き続き育成支援ができるよう努める。

【浜田市医師会】

- 令和4年度の取組状況と同様に実施

【浜田江津歯科医師会】

- 歯科衛生士の不足が深刻なので対応を検討

【島根県薬剤師会 浜田支部】

- 昨年と同様

【訪問看護ステーション】

- ・訪問看護師養成講座実習や訪問看護出向事業研修の受け入れ
- ・浜田医療センター附属看護学校（在宅看護論）実習受け入れ
- ・新卒看護師養成プログラムを活用した、新卒看護師の採用

【浜田市】

- 継続実施

【江津市】

- 令和4年度の取組状況と同様

## 次期（第8次）保健医療計画の策定について

### 1. 計画の改定について

- 現行の保健医療計画は、平成30年度～令和5年度までの6年間の計画期間であり、来年度が計画の最終年度である。  
これを受け、県においては令和5年度中に策定する。
- 「健康増進計画」及び「健やか親子しまね計画」についても併せて改定する。
- 「外来医療計画」「医師確保画」についても併せて改定する。
- 第8次計画から、新興感染症への対応に関する事項を6事業目として追加する他、新型コロナウイルス感染症対策により浮き彫りとなった課題にも対応できるよう、質の高い効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けた取組を引き続き推進する。
- 圏域編は、本編（全県編）とは別に、各圏域で議論・策定していたが、本編との重複が多く、圏域独自の記載内容がわかりにくいという課題があったため、次期計画から本編に一本化する。このうち、5疾病・6事業及び在宅医療については、圏域毎の状況を保健所がとりまとめて本編に盛り込むこととする。

### 2. 計画期間


令和6年度～令和11年度（6年間）

### 3. 今後の予定

※ 別紙【資料No.4】参照

第8次保健医療計画の策定スケジュール

資料4

	県庁	保健所 (圏域記載部分、医療連携体制図)
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機能調査 調査票発送</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機能調査集計結果確定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回医療介護専門部会</li> <li>第1回地域保健医療対策会議</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回医療審議会（骨子審議）</li> </ul>	<p>(病院ヒアリング) 医療連携体制図作成</p> 
9月		
10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回医療介護専門部会（圏域素案協議）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>素案確定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回地域保健医療対策会議（圏域素案協議）</li> <li>圏域素案確定</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回医療審議会（素案審議）</li> <li>パブリックコメント、意見照会開始</li> </ul>	
1月	<p>↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメント、意見照会終了</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見への対応、計画案の修正</li> </ul> <p>↓</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最終案の確定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見への対応、計画案の修正</li> </ul> <p>↓</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最終案（圏域記載部分・連携体制図）の確定</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回医療審議会（最終案の諮問・答申）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回地域保健医療対策会議（報告）</li> <li>医療介護専門部会（報告）</li> </ul>



(1) がん

	現状（○）・課題（■）	施策の方向
圏域	<p>○圏域における死亡原因の第1位となっており、がん予防に関する正しい知識の普及啓発など一次予防の取組を推進しています。</p> <p>○各市や保健所においてがん検診の受診啓発や受診勧奨をおこなっていますが、胃、大腸および子宮頸がんについては県と比較して受診率が低い状況にあります。</p> <p>○がんの専門的な医療については、地域がん診療連携拠点病院として浜田医療センター及び島根がん情報提供促進病院として済生会江津総合病院を中心に実施されています。</p> <p>○検診車での各種がん検診の受診者数は、年々減少しています。コロナウイルス感染症による受診控えもあり、国が掲げる受診率 60%の達成は大変厳しい現状です。</p> <p>■がんの発生には生活習慣やウイルス・細菌による感染が影響していることから、たばこ対策や適正飲酒、減塩、運動といった生活習慣改善の取組やワクチン接種等にかかる啓発が必要です。</p> <p>■がん検診受診率向上に向けて、各市や保健所、検診関係機関等と連携し、がん検診の受診啓発や受診勧奨の推進を図る必要があります。</p> <p>■浜田医療センターは、県西部で唯一放射線治療の機能を有しており、どこに住んでいても適切ながん医療が受けられる体制の構築が必要です。</p> <p>■浜田医療センターでの常勤病理医の確保が困難です。</p>	<p>○がんの発生リスクがあると科学的に実証されている生活習慣等の改善を普及・啓発等を通して推進していきます。</p> <p>○各市や検診関係機関、職域保健関係機関、「しまね☆まめなカンパニー」等と連携し、研修会やイベント等の場を活用しながら、検診体制の整備・啓発活動の推進を図ります。</p> <p>○「がん対策担当者会」を開催し、各関係機関で情報共有等を行うことにより、がん検診および精密検査の受診率向上と精度管理、検診の実施体制の維持向上を図ります。</p> <p>○地域がん診療連携拠点病院及び島根がん情報提供促進病院の体制を維持し、患者が適切ながん医療を受けられるよう、医療機能の充実及び連携体制の強化を図ります。</p> <p>○浜田医療センターのがん拠点病院を維持するために、常勤病理医の確保を進めていきます。</p>

(2) 脳卒中

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○脳卒中は本圏域の死因の第4位で、脳卒中による死亡率は年々減少しています。発症者の9割が高血圧・糖尿病等の基礎疾患を有しており、「浜田圏域健康長寿しまね推進事業」「しまね健康寿命延伸プロジェクト」と連動して一次予防の取組を強化しています。</p> <p>○男性死亡率は県との開きが大きいです。</p> <p>○浜田医療センターでは、緊急血栓回収などの脳外科緊急手術が増加しています。</p> <p>■脳卒中の発症予防のため、医療機関や地域等と連携を取りながら、生活習慣を改善するための健康づくり活動の推進、適切な治療による基礎疾患の重症化予防を働きかける必要があります。</p> <p>特に壮年期における発症予防および基礎疾患の適切な管理が必要です。</p>	<p>○脳卒中の発症を予防するため、「浜田圏域健康長寿しまね推進計画」や「しまね健康寿命延伸プロジェクト」と連動した一次予防の取組を強化していきます。</p> <p>○働き盛り世代の発症予防、再発予防については「浜田圏域地域・職域連携推進協議会」等とも連携し、取組を進めます。</p> <p>○循環器病対策の視点を持った検討の場を持ち、基盤整備に努めます。</p> <p>○浜田医療センターにおいて、脳外科体制の維持と働き方改革の両立を目指します。</p>

(3) 心筋梗塞等の心血管疾患

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○心血管疾患は本圏域の死因の第2位で、県平均より高く推移しています。心疾患による死亡率は年々低下していますが、特定健康診査の結果では、心筋梗塞等の心血管疾患との関連が深い「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」該当者は微増となっており、「浜田圏域健康長寿しまね推進事業」「しまね健康寿命延伸プロジェクト」と連動した一次予防の取組を強化しています。</p> <p>○本圏域には島根県西部で唯一の心臓リハビリテーションを実施している浜田医療センターがあります。また、江津市の医師会と医療機関からなる地域医療連携推進法人では心不全の重症化予防に重点を置いた循環器病対策の取組(心不全地域連携パス、心大血管疾患リハの</p>	<p>○心筋梗塞等の発症予防や早期発見の推進を目的に、引き続き「浜田圏域健康長寿しまね推進計画」や「しまね健康寿命延伸プロジェクト」と連動した生活習慣を改善するための健康づくり活動を推進します。</p> <p>○「浜田圏域地域・職域連携推進協議会」において、特定健康診査の受診率向上や特定保健指導の実施率向上を目指した取組を推進します。</p> <p>○多職種多機関が連携して急性期から維持期・生活期まで一貫したサービスを提供できる体制づくりを推進します。</p> <p>○浜田医療センターにおいて、緊急カテーテル治療、不整脈治療体制を維持していきま</p>

	<p><b>導入等</b>)を行っています。</p> <p>○浜田医療センターにおいて、緊急カテーテル治療、不整脈治療体制を確保しています。</p> <p>■本圏域における「特定健康診査」の令和3(2021)年度の受診率は50.3%と向上していますが、生活習慣改善の支援を行う「特定保健指導」の実施率は18.9%と島根県平均よりも低い状況が続いています。心筋梗塞等の心血管疾患の発症予防のため、特定健康診査で生活習慣病のリスクの高い人を早期に発見し、特定保健指導等で生活習慣の改善を促す等、生活習慣を改善するための健康づくり活動の推進が重要です。</p>	<p>す。</p>
--	---	-----------

(4) 糖尿病

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○糖尿病有病率は、令和元年度以降、女性はほぼ横ばい、男性は増加しており、「しまね健康寿命延伸プロジェクト」において、一次予防の取組を強化しています。</p> <p>○糖尿病患者は年々増加傾向です。</p> <p>■教育入院ができる医療機関が少ない現状です。</p> <p>■糖尿病性腎症は、透析導入の原因疾患として最も多く本圏域では近年増加傾向にあります。人工透析が必要となる糖尿病性腎症などの糖尿病合併症はQOLの低下、医療費の増加をもたらします。新規透析導入者にならないようにする、導入時期を遅らせるために、早期に治療を開始し合併症をもたらさないことが重要です。</p>	<p>○糖尿病の一次予防については、地域職域連携推進協議会において、壮年期を対象に特定健診の受診率向上を目指した取組を推進しています。</p> <p>○糖尿病の合併症を予防するためには、血糖を良好な状態に保ち治療を継続していくことが重要です。医療機関の未受診者や治療中断者に対して、医科歯科薬科など多職種と連携し、適切な受診勧奨や保健指導を行い治療につなげるための取組を進めています。</p>

(5) 精神疾患

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○浜田圏域精神保健福祉協議会では、医療機関、相談支援事業所、当事者団体、行</p>	<p>○住民が心の健康に関心をもち保持増進できるように、保健・医療・福祉・教育・職</p>

<p>政等が連携をとりながら、精神保健福祉体制を構築しています。また、事務局連絡会の開催を通じて、浜田圏域自立支援協議会と圏域精神保健福祉協議会が有機的な連携を図っています。</p> <p>○入院患者の退院意欲や退院後の地域定着を向上させるためには、ピアサポーターによる支援が有効であり、R3年度には4名のピアサポーターを養成しました。</p> <p>■子どもから高齢者まで、ライフステージを通じて精神疾患に対する正しい知識の啓発を図ることにより、早期に適切な対処法を身に付け、地域で生活する精神障がい者への理解を深めることが必要です。</p> <p>■平成30年10月に西川病院に認知症疾患医療センターが立ち上がり、早期発見・早期対応に向けて認知症疾患医療センターや認知症サポート医、初期集中システム、行政等が連携し機能していくことが必要です。</p>	<p>域・地域が連携して、ライフステージに沿った正しい知識の普及啓発に努めます。</p> <p>○精神障がい者が地域へ定着し、本人が望む生活を送ることができるよう、ピアサポーターや相談支援事業者、行政等の多職種で検討すると共に柔軟な支援展開ができるよう体制づくりを行います。</p> <p>○圏域において、24時間365日対応できる精神科救急医療体制の充実・確保に取り組むと共に、浜田圏域精神保健福祉協議会治療継続等専門部会の中で、治療中断や自死関連の事例検討を行い体制整備を図ります。</p> <p>○地域型認知症疾患医療センターを中心に、認知症専門医療の提供と地域の関係機関の連携体制強化を図ります。</p> <p>○認知症対応研修を重ねて、知識ある歯科医師、歯科スタッフを増やしていきます。</p>
---	--

(6) 救急医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○初期救急については、かかりつけ医、浜田市休日応急診療所、救急告示病院の救急外来などの体制がとられています。二次救急について、入院機能を伴う救急告示病院は、浜田医療センターと済生会江津総合病院の2病院が指定を受けています。三次救急については、「救命救急センター」として、浜田医療センターが県西部における地域の役割を担います。</p> <p>■済生会江津総合病院では、医師不足に伴い、江津地域の救急医療体制が脆弱化し、救急患者の受け入れが困難な状況です。それに伴い、浜田医療センターにかかる負担が大きくなっています。</p> <p>脳卒中については、ELVOスクリーンを</p>	<p>○江津地域の救急医療が安心して受けられるよう、圏域を越えた県西部地域の関係機関、場合によっては、県東部地域の関係機関も見据えた連携体制を作ります。</p>

	<p>用い、治療可能な医療機関への直接搬送体制を構築しています。</p> <p>○搬送体制としては、浜田市消防本部と江津邑智消防組合消防本部で救急搬送が行われています。</p> <p>○令和5年4月1日現在で、救急救命士は85名、認定救急救命士は79名で、高規格救急車が17台配備されています。</p> <p>○救急救命士、気管挿管、薬剤投与認定救命士の養成を継続しています。</p>	<p>○救急車の適正利用や、救急搬送に対する江津地域の状況を理解してもらうための啓発を推進します。</p> <p>○今後も引き続き、特定医療行為が行える救急救命士の養成や症例検討などの研修会を支援します。</p>
--	--	--

(7) 災害医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○圏域内の地域災害拠点病院は、浜田医療センターと済生会江津総合病院が指定されており、災害派遣医療チーム(DMAT)は浜田医療センターに2チーム、済生会江津総合病院に1チーム配置されています。また、災害派遣精神医療チーム(DPAT)は、西川病院に1チーム配置されています。</p> <p>○災害時において迅速に医療救護体制を整備するため、平時から医療・消防・行政等の災害医療関係機関と緊密な連携体制を確保するため、浜田・江津地区災害保健医療福祉対策会議を毎年開催しています。</p> <p>■災害時の情報共有の方法について、医療機関の被災状況についてはEMISを使用するが、避難所などの情報共有の方法が明確ではありません。</p> <p>○浜田市・江津市医師会において、医療救護班を編成しています。</p>	<p>○平時より、災害医療関係機関の情報共有による連携強化を図るため、浜田・江津地区災害保健医療福祉対策会議を開催し、緊密な連携体制の構築に努めます。</p>

(8) 感染症に対する医療 (感染症予防計画)

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○これまで新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、外来診療や入院などの医療提供体制の確保や自宅・宿泊療養</p>	<p>○医療提供体制については、県が策定する指針等の内容を踏まえ、医療機関その他関係者と連携し、感染症医療提供体制の確保に</p>

<p>者への支援等を実施してきました。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日に5類感染症に移行しましたが、今後発生する可能性のある新興感染症等に対する発生・まん延時の医療提供体制を確保していく必要があります。</p> <p>○令和5年5月以降、近年県内では発生が無かった感染症の発生が続いています。</p> <p>＜令和5年6月時点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細菌性赤痢（県内5年ぶり）</li> <li>・腸チフス（県内8年ぶり）</li> </ul> <p>■近年県内で発生が無い感染症にも迅速に対応し、感染拡大防止措置を行う必要があります。</p>	<p>取り組みます。</p> <p>○取り組みにあたっては、感染症法に基づき策定する予防計画や新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき策定する行動計画との整合を図ります。</p> <p>○医療機関から、感染症の疑い例の連絡があった際に、速やかに必要な検査や調査を行えるよう体制を整備します。</p> <p>○必要に応じて、食品衛生部門と連携するなど、各感染症に応じた感染拡大防止措置を講じるとともに、関係機関や県民に対して、必要な情報を発信していきます。</p>
---	--

(9) 地域医療（医師確保等によるへき地医療の体制確保）

	現状（○）・課題（■）	今後の方向性
圏域	<p>○江津地域の基幹病院である済生会江津総合病院は、臨床研修指定病院の要件を満たしていないこと等もあり、常勤医師数の減少が続いています。令和4年4月に整形外科医の常勤医が不在となったことに続き、令和5年3月末には外科医2名と脳神経外科医1名が退職し、後任の医師の確保が困難な状況です。また、常勤医師も高齢化していることから、特に救急医療体制の継続が非常に厳しい状況となっています。</p> <p>■済生会江津総合病院と浜田医療センターとの役割分担・連携を進めることが必要です。</p> <p>○浜田圏域は医師多数区域に入っていますが、医師の高齢化や後継者の不在等が深刻化しています。また、江津市では、一次医療が危ぶまれ、中核病院も医師不足でフォローができない状況です。</p> <p>■有床診療所の無床化がすすんだことで圏域内の一般病床・療養病床は縮小して</p>	<p>○限られた医療資源（人材、施設等）を効率的、効果的に活用できるよう、医療施設感の機能の分担・連携を強化し、適切な医療を提供できる体制を維持、確保します。</p> <p>○専門性の高い医療等については、二次医療圏域での医療機能確保を基本としつつ、実情に応じて圏域の枠組を越えた連携を図ります。</p> <p>○医療機能を維持していくために、各医療機関や市町村と連携し、魅力ある職場づくり・地域づくりに努めます。</p> <p>○女性の医療従事者が働きやすい就業環境の整備を検討していきます。</p> <p>○江津メディカルネットワークの活動を推進していきます。</p>



	<p>おり、初期救急医療、在宅医療を担う診療所の機能の維持が課題です。</p> <p>○女性医師の割合が%に増加しており、また令和6年(2024年)4月から適用される、医師の時間外労働上限規制(医師の働き方改革)が開始となります。</p> <p>■いまだ厳しい医師不足の状況が続いており、時間外労働時間の上限規制や、ライフスタイルの変化等により、さらに医師が不足する可能性があります。</p>	
--	--	--

(10) 周産期医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○浜田圏域における分娩取扱施設は、浜田医療センターと済生会江津総合病院の2カ所です。済生会江津総合病院の産婦人科医師が令和5年6月から1名体制となるため分娩取り扱い施設は浜田医療センター1カ所のみとなりました。済生会江津総合病院での健診を希望する妊婦については34週までは週数に応じて浜田医療センターと済生会江津総合病院をそれぞれ受診するシステムが構築されました。</p> <p>■済生会江津総合病院での分娩取扱いが中止になることで浜田医療センターでの分娩数が増加するため、圏域内の病院で密に連携を図る必要があります。</p> <p>■浜田医療センターにおいて、産婦人科医師の後任の確保が課題です。また、助産師の減少による勤務体制の維持が困難です。</p>	<p>○浜田圏域における周産期医療体制の維持を図るべく、「浜田圏域周産期医療連携体制検討会」を開催し、検討を行います。</p> <p>○圏域の出生数の動向等も踏まえながら、院内助産システム、助産師外来の充実強化も含め、圏域内の妊産婦が安心して過ごせるよう周産期医療体制の今後の方向性を検討します。</p> <p>○浜田医療センターにおいて、助産師を募集します。また、職場での負担軽減を図ります。高リスク例についての周産期母子医療センターとの連携を継続します。</p>

(11) 小児救急を含む小児医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	<p>○圏域の小児診療は、入院受入ができる施設として浜田医療センター、西部島根医療福祉センターの2カ所があります。また、外来診療については、済生会江津</p>	<p>○小児科医以外の医師を対象とした小児科診療に係る研修を行うなどにより、小児初期救急医療体制の確保に努めます。</p>

<p>総合病院で小児科外来を開設するとともに、主たる診療科が小児科である診療所が5カ所ありますが、うち1カ所については令和5年度いっぱいでの閉院を予定されています。</p> <p>○小児科を標榜する病院・診療所は海岸部に偏っており、山間部の小児科の初期診療は、かかりつけ医が担っている現状にあります。</p> <p>■小児初期救急に対応できる医療機関が少なく、多くの軽症患者が二次・三次救急医療機関を受診している状況が見られるため、本来担うべき医療に支障を来さないようにする必要があります。</p>	<p>○適切な医療のかかり方やかかりつけ医・夜間救急や休日診療・電話相談の活用など住民への周知・広報を推進します。</p> <p>○「子ども医療電話相談（#8000）事業」の更なる普及に努め、保護者等の不安軽減と、医療機関への受診集中の緩和を図ります。</p>
---	--

(12) 在宅医療

	現状（○）・課題（■）	今後の方向性
圏域	<p>○後期高齢者人口は当面の間、増加すると推計されており、自宅や高齢者施設等での在宅医療のニーズは今後も増加が見込まれます。一方で、医師の高齢化や後継者不在、医療・介護従事者不足等のため、在宅医療の提供が難しくなっています。</p> <p>○浜田圏域では、在宅療養後方支援病院として浜田医療センター及び済生会江津総合病院があり、在宅療養患者の急変時の対応を担っています。</p> <p>○江津市では、医療連携推進コーディネーターの配置をきっかけに、病診連携、診診連携、ケアマネージャーや訪問看護、薬局等との多職種間連携が進んでいます。</p> <p>■在宅医療を担う医療・介護従事者の確保を図るとともに、タスク・シフト/シェアの推進やICTの活用等、効率的で持続可能な医療提供体制の構築を図っていく必要があります。</p> <p>■訪問看護ステーションは浜田圏域に 10</p>	<p>○圏域の在宅後方支援病院及び入院受け入れ病院、在宅医療を担う診療所・訪問看護ステーションの円滑な連携による、在宅患者が安心して生活できる診療体制整備を進めます。</p> <p>○入院医療機関と在宅医療に関わる医療機関、訪問看護ステーション、介護福祉施設、調剤薬局などの情報連携を推進するための連携ツールとして、「まめネット」の利用や「医療・介護連携シート」等を活用し、医療・介護連携の体制づくりを支援します。</p> <p>○圏域の市が在宅医療・介護連携推進事業で実施する取組や障がい福祉に係る相談支援の取組と連携し、在宅医療における課題の抽出及びその対応策について、保健医療対策会議医療介護連携部会等において、一緒に検討します。</p> <p>○住み慣れた自宅や、介護施設等、患者が望</p>

か所あり、増加していますが、対象患者の居宅間の移動に時間がかかるなどから、経営的に厳しい状況にあります。訪問看護ステーション等の人材確保・定着、質の向上、経営の安定化を図ることが重要です。

■在宅医療を含めた一次医療の確保や病院と診療所の役割分担、医療と介護の連携強化等について、市町村を主体とした議論をさらに進めていく必要があります。

■在宅（自宅及び老人ホーム）における死亡者割合は、浜田市 28.1%、江津市 8.9%です。患者本人が最後まで自分らしく暮らすために、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、愛称：人生会議）について啓発が必要です。

○浜田市医師会と訪問看護ステーションとで、在宅医療について話し合いました。

○訪問看護ステーションの人材育成や人材確保に向けて、看護学生の実習を受け入れています。

■中山間地域における訪問看護支援事業所が不足しています。

■在宅医が減少しています。

む場所で看取りが実施されるよう、住民向け啓発を支援するとともに、管内で取られる関係者向け研修等について支援します。

○江津市医師会医療連携推進コーディネーター事業を推進していきます。

○浜田市医師会と訪問看護ステーションとの意見交換会を継続していきます。

○訪問看護ステーションの人材育成や人材確保に向けて、看護学生の実習受け入れを継続します。

## 1. 外来医療の課題

- 患者の医療機関の選択に当たり、外来機能の情報が十分得られず、また、患者にいわゆる大病院志向がある中、一部の医療機関に外来患者が集中し、患者の待ち時間や勤務医の外来負担等の課題が生じている。
- 人口減少や高齢化、外来医療の高度化等が進む中、かかりつけ医機能の強化とともに、外来機能の明確化・連携を進めていく必要。

## 2. 改革の方向性

- 地域の医療機関の外来機能の明確化・連携に向けて、データに基づく議論を地域で進めるため、
  - ① 医療機関が都道府県に外来医療の実施状況を報告（外来機能報告）する。
  - ② ①の外来機能報告を踏まえ、「地域の協議の場」において、外来機能の明確化・連携に向けて必要な協議を行う。
 → ①・②において、協議促進や患者の分かりやすさの観点から、「医療資源を重点的に活用する外来」を地域で基幹的に担う医療機関（紹介受診重点医療機関）を明確化
  - ・ 医療機関が外来機能報告の中で報告し、国の示す基準を参考にして、地域の協議の場で確認することにより決定

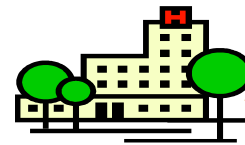
➡ 患者の流れがより円滑になることで、病院の外来患者の待ち時間の短縮や勤務医の外来負担の軽減、医師働き方改革に寄与

### かかりつけ医機能を担う医療機関



かかりつけ医機能の強化  
(好事例の収集、横展開等)

### 紹介受診重点医療機関



病院の外来患者の待ち時間の短縮、勤務医の外来負担の軽減、医師働き方改革

外来機能報告、「地域の協議の場」での協議、紹介患者への外来を基本とする医療機関の明確化

紹介

逆紹介

### 〈「医療資源を重点的に活用する外来」〉

- 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来（悪性腫瘍手術の前後の外来 など）
- 高額等の医療機器・設備を必要とする外来（外来化学療法、外来放射線治療 など）
- 特定の領域に特化した機能を有する外来（紹介患者に対する外来 など）

# 紹介受診重点医療機関について

○ 外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、医療資源を重点的に活用する外来の機能に着目して、以下のとおり紹介患者への外来を基本とする医療機関(紹介受診重点医療機関)を明確化する。

- ① 外来機能報告制度を創設し、医療機関が都道府県に対して外来医療の実施状況や紹介受診重点医療機関となる意向の有無等を報告し、
- ② 「地域の協議の場」において、報告を踏まえ、協議を行い、協議が整った医療機関を都道府県が公表する。

※ 紹介受診重点医療機関(一般病床200床以上の病院に限る。)は、紹介状がない患者等の外来受診時の定額負担の対象となる。

## 【外来機能報告】

○ 「医療資源を重点的に活用する外来(重点外来)」等の実施状況

- ・ 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来
- ・ 高額等の医療機器・設備を必要とする外来
- ・ 特定の領域に特化した機能を有する外来

○ 紹介・逆紹介の状況

○ 紹介受診重点医療機関となる意向の有無

○ その他、地域の協議の場における外来機能の明確化・連携の推進のための必要な事項

## 【地域の協議の場】

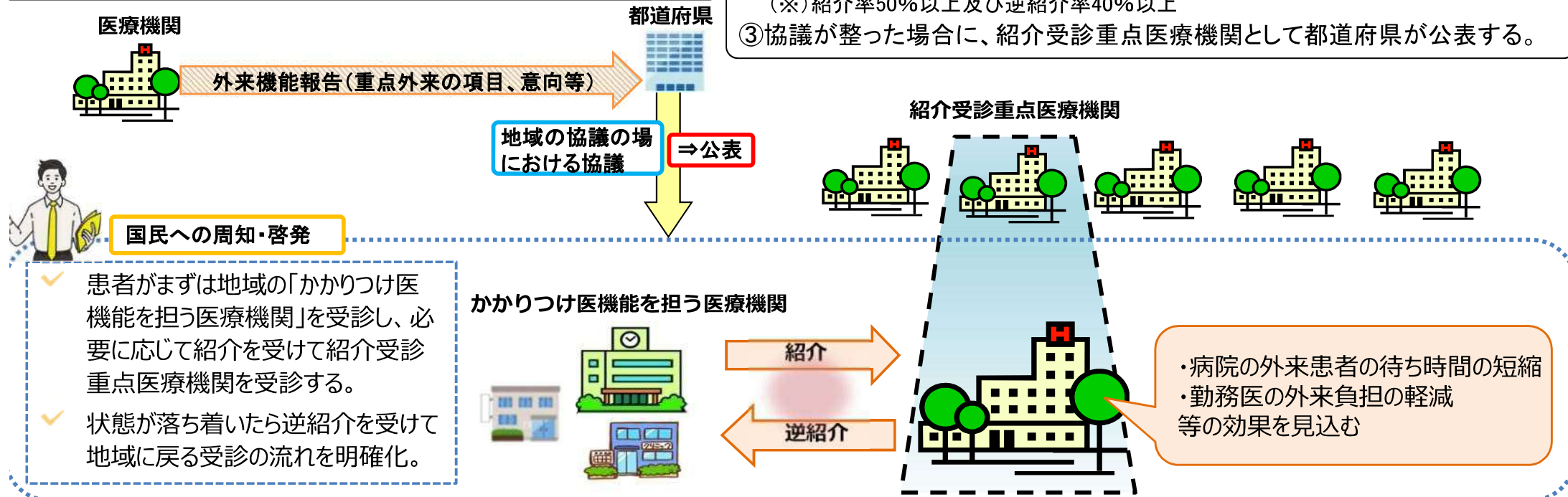
① 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準(※)を満たした医療機関については、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を確認し、紹介率・逆紹介率等も参考しつつ協議を行う。

(※) 初診に占める重点外来の割合40%以上 かつ  
再診に占める重点外来の割合25%以上

② 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準を満たさない医療機関であって、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を有する医療機関については、紹介率・逆紹介率等(※)を活用して協議を行う。

(※) 紹介率50%以上及び逆紹介率40%以上

③ 協議が整った場合に、紹介受診重点医療機関として都道府県が公表する。



# 医師確保計画推進事業の概要 (R4年度改正)

資料7

## 〔内容〕

➤ 医師確保計画の推進のため、県内各圏域の医療機関等が実施する必要な取組みを支援(医療介護総合確保促進基金を充当)

## 〔事業主体〕

➤ 「医師少数区域」及び「医師少数スポット」に所在する病院、郡市医師会、地域医療連携推進法人、へき地診療所、市町村等

## 〔対象経費〕

➤ 医師確保計画の推進を目的とした次の事業に係る経費

事業区分	基準額	留意事項
① 医師を確保するために圏域の医療機関や自治体と連携して実施する医師招聘事業	—	【対象経費】 報償費、職員等旅費、需用費(消耗品費、印刷製本費)、役務費(通信運搬費、広告料、手数料)、委託料、賃借料及び使用料
② 県内の医師多数区域又は県外から新規に常勤雇用する者又は新規に非常勤雇用する者を対象として、当該医療機関に1年以上勤務することを返還免除の条件とする資金貸与制度を設け、当該制度に基づき貸与を行う事業	2,000千円/名	【対象外】 ① 県の医学生向け奨学金、研修医研修支援資金の貸与を過去に受けた者 ② 自治医科大学卒業者(義務年限内) 【非常勤医師】 勤務日数等を勘案して知事が適当と認める者に限って対象
③ 県内の医師少数区域又は医師少数スポットに所在する病院、へき地診療所へ医師の派遣(定期的な派遣に限る)を行うことで生じる逸失利益	1,250千円/月 ※派遣医師1名あたり	【逸失利益の計算式】 医師1名が1ヶ月にあげる利益×派遣医師数×派遣月数
④ <b>【新規】医師を確保するために実施する研修環境整備事業 (R4年度から3年間)</b>	<b>1,000千円</b>	<b>【対象経費】 研修環境を整備するための初期の導入経費</b>

## 〔補助基準額及び補助率〕

➤ ①～③は1事業あたり基準額10,000千円(補助率1/2)

※①～③を組み合わせる申請可能 ※事業に係る収入(寄附金等)がある場合はその額を控除

➤ ④は1事業あたり基準額1,000千円(補助率1/2)

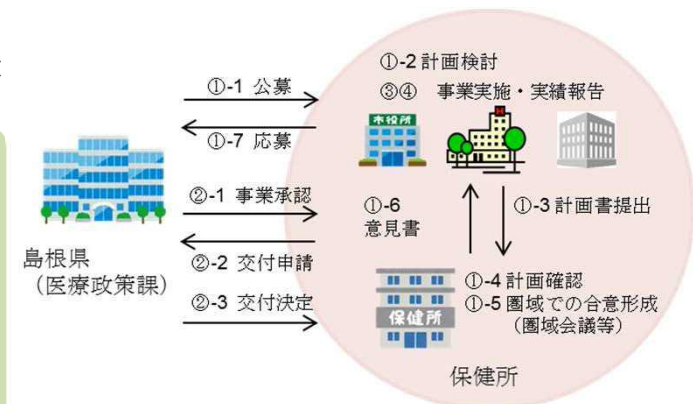
### 〔想定事業例〕

- 病院が民間企業と協力(委託)し、当該病院を拠点としつつ、連携する開業医のもとで手技等を学ぶ等の魅力的なプログラムを構築・提供することで、地域医療を目指す医師を全国から招聘する取組
- 医師転職支援企業と連携して医師多数区域より医師を招聘し、当該医師へ貸付金を貸与することで定着を図る取組

### 〔その他〕

➤ ①～③を組み合わせる申請可能(例:①5,000千円+②2,000千円=事業費7,000千円)

④は①～③と別事業とする。





事業種目	事業主体	事業実施期間	確保する医師数 (注1)	連携先(注2)	事業内容(注3)	交付申請予定経費(注4)
						合計 10,000,000円
連携事業	島根県済生会江津総合病院	R5.4.1~R6.3.31	2人	江津市  地域医療連携推進法人江津メディカルネットワーク	<p>島根県済生会江津総合病院や圏域への医師の招致を促進するため、江津市と当病院が連携し、長期的な医師招致を行う仕組みづくりを実施する。</p> <p>江津地域では高齢者の患者が多く、病院では急性期から慢性期までの幅広い疾患を診る必要があり、これが地域医療ニーズとしてある。これに対応する診療体制(医師招致)を維持する為、</p> <p>①自身の専門分野をもつ【総合診療医】を主軸に、 ②いくらかの【専門医】の配置を行う、 ことを要する。総合診療医の招致には、「江津病院での診療を通じて総合診療を学べる」「指導医がいること」等の環境づくりが必要である。この構築を図る為、江津市と当院で連携した、江津地域を拠点とする「総合診療医」を育成・招致する仕組みづくりを、当事業で実施する。</p> <p>事業概要が下記のとおり。</p> <p>(1) 連携協議 「総合診療医を育てる仕組みづくり」について、江津市・当病院で具体的構成の検討。</p> <p>(2) 情報収集、医師招致活動 医師等へ個別訪問を行い、仕組みづくりにかかる助言等を得て活動に反映。医師招致活動を江津市と連携して検討実施。</p> <p>(3) 情報発信 江津地域や病院の様子を医師向けに分かりやすく発信する為のHP改定やSNS活用を行う。コンサルティング会社の支援や訪問先の医師意見を踏まえて実施。機運醸成の研修会実施。</p> <p>(4) 交流促進 将来の江津病院への医師招致の為、地域枠医学生との交流を江津市と連携して実施。併せて「総合診療医を育てる仕組みづくり」の周知。市内の中学・高校等へ周知活動。</p>	<p>小計 10,000,000円</p> <p>(内訳)</p> <p>報償費 500千円 ・ 研修会の講師謝金等</p> <p>職員等旅費 1,100千円 ・ 個別訪問に係る職員旅費 ・ 研修会の講師旅費</p> <p>需用費 970千円 ・ 事務費 ・ 広報紙、研修会資料等の印刷費</p> <p>役務費 450千円 ・ 郵券料、手数料等 ・ 広告料</p> <p>委託料 6,780千円 ・ 紹介会社委託料(医師紹介・広報支援) ・ ホームページ構築</p> <p>賃借料 200千円 ・ 研修会の会場使用料 ・ 医師訪問先での会場使用料</p>
資金貸与事業(注5)						
逸失利益(注6)						
研修環境整備事業						

注1) 本事業により確保する医師数を記載すること。非常勤医師を確保する場合は、常勤換算すること。  
 注2) 連携事業を計上する場合は、必ず連携先を記載し、かつ、事業内容欄には連携内容及び連携により期待される効果を具体的に記載すること。  
 注3) 審査に用いるため、本事業が医師確保計画の推進に資する取組みであることを分かりやすく記載し、必要に応じて資料を添付すること。  
 注4) 交付申請予定経費は可能な限り詳細に記載すること。なお、寄付金その他の収入を充当する場合は、充当経費と充当額を記載すること。  
 注5) 資金貸与事業を計上する場合は、本書と併せて、様式1別紙1の2を提出すること。  
 注6) 逸失利益を計上する場合は、本書と併せて、逸失利益の計算内容の詳細を記載した資料(任意様式)を提出すること。

FAX ; 0855-22-7009

別紙

浜田保健所 医事・難病支援課（青笹） 行

※ 様式がデータで欲しい方は、空メールを送ってください。

(E-mail;aozasa-mika@pref.shimane.lg.jp)

追加意見等ありましたら、  
7/18（火）までに、返信を  
お願いします。

所属 ; \_\_\_\_\_

職名 ; \_\_\_\_\_

氏名 ; \_\_\_\_\_

連絡先 ; \_\_\_\_\_

### 【浜田圏域の状況】（現状・課題と施策の方向）

#### （1）がん

	現状（○）・課題（■）	施策の方向
圏域	○  ■	○  ○

#### （2）脳卒中

	現状（○）・課題（■）	今後の方向性
圏域	○  ■	○  ○

(3) 心筋梗塞等の心血管疾患

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○ ■	○ ○

(4) 糖尿病

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○ ■	○ ○

(5) 精神疾患

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○ ■	○ ○

(6) 救急医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○ ■	○ ○

(7) 災害医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○  ■	○  ○

(8) 感染症に対する医療 (感染症予防計画)

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○  ■	○  ○

(9) 地域医療 (医師確保等によるへき地医療の体制確保)

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○  ■	○  ○

(10) 周産期医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○  ■	○  ○

(11) 小児救急を含む小児医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○  ■	○  ○

(12) 在宅医療

	現状 (○)・課題 (■)	今後の方向性
圏域	○  ■	○  ○